令和四年度

第 53 号

静岡県三島市文教町 2-31-145 日本大学国際関係学部 校 会 友

◎常任幹事会

◎常任幹事会

○常任幹事会

○常任幹事会 ◎幹事会

令和四年六月四日(土土)一七時三○分から、常任幹事会に引き続いて幹事会が開催された。 智常任幹事、書記には諏訪部昭子常任幹事がそれ でれ選出され、次の議事が検討審議された。 一 令和三年度決算報告 一 令和三年度事業報告 一 令和三年度事業報告 一 令和三年度事業報告 一 令和三年度事業報告 一 令和三年度決算報告 一 令和三年度決算報告 一 令和三年度決算報告 一 令和三年度本業報告 一 令和三年度本業報告 一 令和三年度本業報告

する件 三島学園 三島学園開設七十五周年記念実行委員に関ホームカミングデー実行委員に関する件

一 対労者表彰に関する件

一 校友会会報(第五十三号)原稿依頼について
一 で友会会報(第五十三号)原稿依頼について
一 で友会会報(第五十三号)原稿依頼について
田中由雄幹事長から、令和三年度事業計画(案)並びに令和四年度事業計画(案)並びに令和四年度中国連幹事長から、令和三年度事業報告並びに令和三年度決算報告が報告され、藤本文彦会計監査から監査報告があり、それぞれ承認された。

「国際関係学部校友会関係物故者について
」 可労者表彰に関する件

令和四年度新役員については、国際関係学部の勝つの一年度新役員については、国際関係学部の場合という。 中国 一部 が新幹事として、事務局から推薦された者で国際関係が新幹事として、事務局から推薦された者で国際関係が新幹事として、事務局から推薦があり承認された者がが、事を開発会会会長賞及び優秀賞を授与された者がが、事をは、国際関係学部の勝つ、というには、国際関係学部の勝つ、というには、国際関係学部の勝つ、というには、国際関係学部の勝つ、というには、国際関係学部の勝つ、というには、国際関係学部の勝つ、というには、国際関係学部の勝つ、というには、国際関係学部の勝つ、というには、国際関係学部の勝つ、というには、国際関係学部の勝つ、というには、国際関係学部の勝つ、というには、国際関係学部の勝つ、というには、国際関係学部の勝つ、国際関係学部の勝つ、というには、国際関係学部の勝つ、というには、国際関係学部の勝つ、というには、国際関係学部の勝つ、というには、国際関係学部の勝つ、というには、国際関係学部の勝つ、というには、国際関係学部の勝つ、というには、国際関係、関係を対して、国際関係、関係を対して、国際関係、関係を対して、国際関係、関係を対して、国際関係を表する。

会報(第五十三号)発行については会報(第五十三号)発行については学部から渡邊学部長・相良事務局長、校友会から横山会長、宮下副会長、校友会から横山会長、宮下副会長、在学生で校友会優秀賞授にも原稿をお願いしたい。また、在学生で校友会優秀賞授にも原稿をお願いしたい。また、在学生で校友会優秀賞授にも原稿をお願いしたい。また、在学生で校友会優秀賞授にも原稿を依頼した旨の報に表現の報告を表現した。

た。

次にホームカミングデー実行委員会については、田中由雄幹事長から毎年恒例の富桜祭及び三島大祭りに卒業生と在学生の絆を深める目は所で表情成メンバーは昨年度委員の継続としたい旨の提案がなされた。三島大祭については開催場所が現在確定していないため中止となる可能性もある。

三島学園開設七十五周年記念事業については、田中由雄幹事長からき続き検討委員会を設置したい旨の提案がなされ審議の結果、三案とも提案がなされ審議の結果、三案とも提案がなされ審議の結果、三案とも提案がなされ審議の結果、三案とも提案がなされ審議の結果、三案とも提案がされ審議の結果、三案とも表記された。

国際関係学部校友会に対しご尽力を頂きましたい旨の状並びに記念品を贈呈したい旨の状並びに記念品を贈呈したい旨の状並びに記念品を贈呈したい旨の状並びに記念品を贈呈したい旨の状並びに記念品を贈呈したい旨の状並びに記念品を贈呈したい旨事務局に連絡を頂いた会員を見した。

時計塔(三島学園開設75周年記念)校舎15号館南側

員会を設置したい。委員会構成メンバーは昨年度で特産物等販売の物産展を出店する目的で実行でれる第七十二回富桜祭に校友会主催による地長から令和四年十月二十九日・三十日の両日開電話経祭物産展実行委員については田中由雄幹

委委元催事

常任幹事会·幹事会

「きずな(絆)」

校友会会報誌

「桜縁」を発行し

ション誌KIZUNA(絆)」を、



国際関係学部校友会会長 横 Щ

ととお慶び申し上げます。 おかれましては益々ご清祥のこ 国際関係学部校友会の皆様に

演の四名の方々が参加し大盛況 河ドラマ「鎌倉殿の13人」に出 朝公旗揚げ行列には源頼朝役の 催されました。八月十六日の頼 大泉洋さんをはじめNHKの大 今年三年ぶりに三嶋大祭りが開 心より御礼申し上げます。 活動にご理解と ご協力を賜り キャンパスのある三島市では 平素は国際関係学部校友会の

からは日大三島高校生徒会の役 に始めました。二〇一八年一月 献を目的として毎月第四日曜日 第一回を、校友が交流の場とし てきずなを深めることと社会貢 が、二〇一六年五月二十二日に での会報にも書いてきました 「きずな清掃」については今ま 清掃」が七年目に入りました。 そんな今年の五月に「きずな

> うになりました。生徒会役員が 「きずな清掃」のコーナーを設 されました。今号に特集として 今後は大学生と教員、職員も参 のご参加をお待ちしておりま 継続していきます。校友の皆様 と思います。今後もこの活動は おりますのでご覧いただきたい の感想(コメント)も掲載して 載しています。合わせて参加者 けています。そちらに記事を掲 き日大新聞に活動の様子が掲載 大学新聞社に取材をしていただ す。七年目に入った節目に日本 ていったらよいと思っていま 加してオール日大の活動になっ 続けて参加してくれています。 交替してもしっかり引継ぎして 員の皆さんも参加してくれるよ

校と日大人を結ぶコミュニケー コーナーです。日本大学では母 今号より新コーナーを設けま た。校友の今をお届けする

じくする付属三島高等学校に五

には六名、

更にキャンパスを同

を始めた森本さん(旧姓丸橋さ 関係学部三期生で脱サラをして 介のコーナーがありますが、国 ております。こちらには校友紹 ん)が登場しますので是非ご覧 農産物の加工品を販売する事業 いうものです。第一回目は国際 部卒業生の今をお届けしようと 際関係学部校友会の会報にも学

> 関係学部校友会のホームページ ません、掲載ご希望の方は国際 していきますので自薦他薦問 ます。次号以降も引き続き掲載 きずなが深まる事を期待してい て同期や先輩、後輩の今を知り ください。このコーナーを通し にお問い合わせください。

躍をお祈り申し上げます。 結びに皆様方のご健勝とご活

「ご挨拶



教育活動に対し、ご支援、ご助 短期大学部 (三島校舎) の研究 係学部校友会の皆様におかれま よりとお慶び申し上げます。ま しては益々ご清祥のことと、心 い季節となりましたが、国際関 スから見上げる富士山が清々し 秋晴れの青空の下、キャンパ 平素は国際関係学部並びに

> 国際関係学部学部長 武 郎

学科に五四名、食物栄養学科に 七名、短期大学部ビジネス教養 います。 力賜りまして、誠に有難うござ 八八名、専攻科食物栄養専攻に 七名、大学院国際関係研究科 今年度は国際関係学部に六三

○○○人となります。 四名の新入生を迎えることが出 三島キャンパス全体で一、四三 生大学院生を合わせると約五 来ました。全ての在校生、 八四名、三島中学校に四八名と、 国際関係学部には、新たに今

生、地球環境問題の鈴木和信先 パスの特徴です。学生の皆さん る先生方がいるのが三島キャン ず様々な分野の研究をされてい 迎えしました。学問分野に偏ら 生、アメリカ文化の松本美千代 年度から社会学の上田光明先 できると確信しています。 の知的好奇心に十分応える事が 基礎栄養学の難波亜紀先生をお 食経営管理論の小山ゆう先生 短期大学部(三島校舎)には給 先生、中国語の柳宇星先生を、 先生、日本語教授法の船橋瑞貴

不便を感じているかと思いま けられており、学生の皆さんは として学生の皆さんには教室内 武道館での入学式を挙行するこ でのマスクの着用が求められ、 とができました。しかし、依然 部の授業はオンライン形式で ークル活動も様々な制限が掛 実施が続いています。部活動 令和四年度は久しぶりに日本

国際関係学部校友会の皆様にも 甲子園出場は33年ぶりでした。 回全国高等学校野球選手権大会 の選抜大会に続いて、第一〇四 ご支援賜りまして有難うござい した。付属三島高校野球部が春 ンパスに嬉しい出来事が続きま の出場を果たしました。夏の そんな中、この夏は三島キャ

選手権で優勝しました。どちら 未来夢選手が、日本プロゴルフ で国際関係学部を卒業した堀川 も夏の暑さを吹き飛ばす出来事 国際関係学部ではプロゴルフ

き続きご支援、ご指導を賜りま すようお願い申し上げます。 症は終息には至りませんが、皆 方に於かれましては、今後も引 ンパスでは教職員が一丸とな いきたいと思います。三島キャ しずつ日々の日常を取り戻して さんにご協力いただきながら少 未だ新型コロナウィルス感染 国際関係学部校友会の皆様 皆さんのサポートに努めま



国際関係学部事務局長 相 良 浩

Ξ

対する平素のご支援・お力添え 部・短期大学部(三島校舎)に 皆様方には、私ども国際関係学 び申し上げます。また、校友の ますご清祥のことと心よりお慶 の皆様におかれましては、ます 日本大学国際関係学部校友会 厚くお礼申し上げます。 深く感謝申し上げるととも

ものの、対面授業とオンライン ります。いくつかの制約はある て通常の対面授業を開始してお 染症の感染が止まらずにいます 過ごせるように対応していると 染防止対策を徹底した上で、 授業の併用を継続しながら、 しては五月十八日から原則とし が、令和四年度の前期授業に関 ころでございます。 生が通常のキャンパスライフを 現在も新型コロナウイルス感

> 配とご迷惑をおかけしましたこ 報告いたします。 ておりましたが、改めて概要を 学のホームページに都度掲載し 誠に申し訳ございませんでした。 と、心からお詫びいたします。 その対応につきましては、大

四月には 今回のような不祥事を起こさな 議の答申書」及び「第三者委員 くことといたしました。三月三 明と再発防止策の策定をしてい 者委員会」を立ち上げ、 な改革を行うこととし、「第三 結果を真摯に受け止め、二度と した。大学はこの答申及び調査 会の調査報告書」を提出頂きま 十一日には、「日本大学再生会 日本大学の未来に向けて抜本的 いよう、改革の方針を立てました。 「日本大学再生会議」を組織し、 本学は一連の事件を受けて 「本法人の今後の対応 . 原因究

ざいます。

件が規範意識の欠如に起因する てまいります。 今後はこの規範に則って行動し 定いたしました。我々教職員は ことを反省し、 しました。 改革を推進することを公表いた 大学行動規範」を四月一日に制 合わせて、 「学校法人日本 今回の事

就任しております。新体制は 理事長が、第十五代日本大学学 び評議員で構成された法人役員 ランスにも配慮しております。 の女性を選任してジェンダーバ 九人を起用し、評議員も十四人 女性理事として林理事長を含む 新評議員四十九人で、本学初の 新理事二十四人、新監事四人 ました。新理事長には林真理子 を決定し、新体制を発足いたし 長には酒井健夫学長がそれぞれ 七月一日には、新たな理事及

り組んでいくこととなります。 してまいりますので、どうぞよ ことを第一に考え、業務を遂行 学生生活が送れるよう、 学生・生徒が安心して充実した 指して、信頼の回復に全力で取 の方針に基づき、新生日大を目 が承認されました。今後は、こ 及び「教学に関する基本方針 新たな「管理運営の基本方針 九月二日開催の理事会では 学生の

ろしくお願い申し上げます。 係学部校友会から、三島学園開 さて、 今年六月には、

国際関

設計が完了し、現在実施設計の 部図書館兼管理棟新築工事」の 陽電池式の時計台は正門を入っ 設七十五周年記念として、時計 終盤をむかえているところでご す。今年二月には本部管財部と 進捗状況について報告いたしま し上げます。 ましたことに対しまして感謝申 ていただきました。ご寄贈賜り てすぐ十五号館の南口に設置し、 も連携しながら、新校舎の基本 して申請していた「国際関係学 キャンパス内の案内表示も付け 台一式をご寄贈頂きました。太 最後に、重要事業整備計

ますので、 援を賜りますようよろしくお願 後ともより一層のご理解とご支 生活環境の充実に向けて教職員 い申し上げます。 島校舎)は、学生の教育・学生 一丸となって取り組んでまいり 末筆となりましたが、 国際関係学部·短期大学部(三 校友会の皆様には今 国際関

校友の皆様には、多大なるご心

いて報告いたします。

まずは、

文部科学省に報告を行い、健全 及び方針について」を作成し、

な管理運営体制の構築に向けた

一連の不祥事に関する対応につ

めに、昨年発生した本学の

国際関係学部在学に感謝

現在でも私は、仕事柄、



国際関係学部校友会副会長 下 公 雄

ぎようとしております。 大学を卒業し早四十数年が過

難しい環境の中、国際関係学部 皆様には大変感謝申し上げま を運営されている学校関係者の 痛であったと思います。様々な くの先生方も大変なご苦労ご心 時の対応を狭まれる状況が続 への対応など、多くの問題へ瞬 ら大学経営とコロナ禍での学生 ここ数年社会で注目を浴びなが に大きく変わりつつあります。 知的でしなやか優しいイメージ 男性的な、豪傑なイメージから、 日本大学も、以前からあった 渡邊武一郎学部長はじめ多

日本大学!』と心の中で叫んで る度に、卒業生として『頑張れ 私自身も日本大学の話題が出

変珍しい国際関係学科で学び、 変お世話になり当時としては大 四十数年前、一期生として大

いただきました。

くらい恥ずかしい経験もさせて

今となっては顔が赤面する

りました。 ただいた素晴らしい経験でもあ 中国への語学研修、クラ連活動 など現在の私の基盤を作ってい

でも大変な宝物になっておりま 間の語学研修は私にとっては今 その中でも、 中国への四十日

らホーク、ナイフをテーブルの りの態度の悪さから給仕の方か 日レストランで食事を繰り返 差が多くあるのに拘わらず、毎 上海のレストランで貨幣価値の 今では考えられないのですが、 兵隊さんに、酷く怒られた事。 にタクシーを乗り付けてしまい な国会の開催中、議事堂の正面 六中全会という中国でも代表的 ん中に投げ込まれてしまった 北京語言学院での語学研修、 帰国直前の食事会にはあま

> ります 日本の学生も捨てたものじゃあ 明るくたくましく様々なことに つけ、時代は変わっても現在の チャレンジをする学生を見るに 払っております。そんな中でも、 研修もできずに、多くの犠牲を 年生は三年間のコロナ禍で海外 が、特に現在の大学三年生、四 ないな、立派だなと感心してお

事を思い起こしました。 製作、建物の改装工事など色々 験や、工場でのコンデンサーの 事業で多くの成功体験を経験し ンターンを体験する学生が多い なことを経験させていただいた ルバイトでプリンターの耐久試 話になっていた当時、夜勤のア か見ないうちにインターン先の 様です。仕事先の学生も何週間 回り成長してくる学生姿を見 最近では、 私自身国際関係学部でお世 就活活動の傍らイ

生の皆様はすべての時間を無駄 国際関係学部での経験、三島で に大いに役立っております。学 の生活すべてが今でも色褪せず にせずに、様々な事を身に着け 四十数年前、お世話になった

と交流する機会が多くあります 学生 しております。 としてご活躍いただく事を期待 さを持った新しい時代の卒業生 細部にまで気が付く、 ていただき、社会に出たときに しなやか

とさせていただきます。 卒業生の皆様が世界中で活躍事 を期待いたしまして結びの言葉 コロナ終息後、学生の皆様、

縁



国際関係学部校友会常任幹事

くる、自然の威力の大きさに人 ますますご清祥のことと心より お喜び申し上げます。 時代に大きな波が押し寄せて 校友の皆様におかれましては、

機械科は廃止となりました。 なり、私の卒業一年後建築科 科・機械科の学生は募集停止と 際関係学部が開設され工科建築 成長期の時代です。その年、

時

続いた高度経済成長期後の安定

玉

ひろみ

学部工科建築科を私が卒業した 感じています。日本大学短期大 間の力は小さいものだと改めて 九七九年はそれまで十九年間 平先生でした。そして、設計製 図の先生でした。知って入部を たと思います。 を感じました。 したわけではなく縁のつながり イビングクラブ顧問監督は岡野 大桜潜会)に入部しました。ダ 入学しダイビングクラブ(日

期限時間は一秒遅れても受け付 待っているという過酷な授業で けられず未提出となり、 した。卒業後、先生に仕事での 課題製図作成提出があり、 必修科目の設計製図授業には 留年が 提出

代の流れのなか、

平穏な時だっ

ます。

弱音を聞いてもらっていたと思

宿で顔を合わせます。昼間は素 業の同期の仲間で二ヶ月に一度 卒業をして四十三年、 大切なポイントになっています。 いく今も、人と接していく中で ニケーションは、 います。この時経験したコミュ へ出る準備だったように感じて を教わりetc.これらは社会 ていただき、一瞬芸などの余興 ます。たくさんのお話を聞かせ 入れていただけたと感謝してい の区別もない素晴らしい仲間に 反省宴会へ。先生・先輩・後輩 いた魚をおかずに夕食、続いて ミーティング、そして手銛で突 潜り・スキューバの訓練、夜は 部の先輩方も集まり年五回の合 部・経済学部・商学部・文理学 スに一年間在学していた法学 とができました。三島キャンパ くさんの先輩方と交流を持つこ ングクラブに入ったおかげでた 授業は大変でしたが、ダイビ 仕事を続けて 建築科卒

ちにも当分こちらに来ないでほ

認」など、様々な制約が課され外者との接触の有る無しの確を遠慮してほしい」とか、「県のる家族がいる場合施設利用る家族にとって、「県外に務める別出来ない感染は介護者を抱え

ました。県外に住む子供や孫た

しいとお願いするしかありませ

らいは良いだろと思う事が大変

んでした。ほんの小さなこれく

定例宴会が続いています。近頃 の話題は「健康」が多くなりま した(笑)、酒の量も減りました。 が、学生時代に戻ってしまえる が、学生時代に戻ってしまえる さ話は終わりがありません。同 じ時代の時間を過ごしたコミュ

コロナ禍がなかなか収まらない中、人と会う機会が減ってしまっていますが「生の人間」と時を共にする、人とつながって時を共にする、人とつながっている事は大切なこと。それらを教えてくれた先生・先輩方・仲間に感謝しています。

です。その後、

家のリフォーム

デイサービスの利用を始めたの

新しい生活」

防ぎと、今までに無い生活をなりできい出されました。体温測定をマスク使用も常時となり生活の注意事項は多岐に及び、ワクの注意事項は多岐に及び、ワクの注意事項は多岐に及び、ワクの注意事項は多岐に及び、ワク

何処から、どの様に起こるか予んとかスタートさせたのです。



押見 恵美子 国際関係学部校友会常任幹事

令和四年、三年ぶりの行動制 に動い。世の中はコロナ感染が ます。「制限なし」と言っても、 高齢の義母をかかえており、地 高齢の義母をかかえており、地 り、身近に感染者が出た為外出 り、身近に感染者が出た為外出 り、身近に感染者が出た為外出 も立てられないのが現実です。 も立てられないのが現実です。 も立てられないのが現実です。 も立てられないのが現実です。 も立てられないのが現実です。 も立てられないのが現実です。 も立た。世の中はコロナ感染が ました。世の中はコロナ感染が

た。義母が退院後でないと行えないリフォーム、デイサービスないリフォーム、デイサービスな時間のやり繰りに、このままでは仕事との両立は無理であると考え、私は仕事を辞める事にと考え、私は仕事を辞める事にしましたが、残念と思う気持ちより、これまで勤め続ける事が出来てこれまで勤め続ける事が出来てこれまで勤め続ける事が出来でよかった様に思います。義姉大きかった様に思います。義姉けてもらい私も仕事の対継ぎ等終え、退院した義母は

様に思います。今では何処で誰な恐怖に似た感情を持っていたな事になるかもしれない。そん

りました。令和三年夏に起きた

まいました。

悲しい出来事もあ

そんな日常を送る事になってしと何もできなくなってしまう。なんだと気持ちを切り替えないが感染してもおかしくない状況

守る大人も幸せ、心配や諦めの 誰もがそれが普通だよと言え を選び・美味しい物を食べる」 しいことをして・選びたいもの 優しくありたい。「会いたい人 がとても苦しくなる。仕事でも、 害者であるような情報があふれ 況も変化し、戦争もお互いが被 災害の起きるであろう気象の状 断するのはとても難しい。コロ もその情報が正しいかどうか判 達は情報を簡単に得ますが、 過ごしました。世界では令和 緒に働いていた人を亡くしまし 熱海伊豆山の土石流災害で、 無い生活になるよう心から祈 る、 に会い・行きたい所に行き・嬉 家庭でも、こんな時だからこそ くれる人が身近にいないと生活 ても危険で、話せる人や聞いて ている。勝手に思いこむ事はと ナに対する対応も日々変わり、 ビや新聞そしてネットから、 年二月に起きた侵略戦争。 た。安否未確認のまま二か月を 病気をしてもちゃんと診て 誰もが長生きしても困らな 子供達も外で遊び、 見 で 私

「新時代の校友会のありかた」



高野 調際関係学部校友会常任幹事

然します。 令和の時代になり、大学生たちの意識が大きく変わってきてちの意識が大きく変わってきて

でしょう。一段と加速しているのは明らか一段と加速しているのは明らか

代です。 ケーションとることができる時して双方向で簡易にコミュニマホを全員が使い、ネットを通マホを全員が使い、ネットを通

ページで確認し、授業はリモー大学の案内や情報はホーム友人と交流する世代です。 エNEやInstagramであうコミュニティに繋がり、L

エントリーしています。オージで確認し、授業はリモーページで確認し、投業はリモートで受講し、レポートも電子トで受講し、レポートも電子のようででは、

リアルに通学しなくても場所

少なくとも、

同期同世代との

ます。 ubeで勉強や疑似体験ができを 選 ば ずZOOM やYouT

います。

実際、学生はキャンパスに行くことが激減しているそうです。これではゼミやサークル活動、この交流機会も不活発にならざンの交流機会も不活発にならざるを得ません。

大学生時代に一緒にゼミやサークルサークルで苦楽を共にし?一生の友人をつくるなんていう時代は終わっています。から卒業アルバムや卒業記念から卒業アルバムや卒業記念がの卒業生もほとんどいない感代の卒業生もほとんどいない感じです。

ていくのか? はこれからどんな姿で活動をし こんな環境化の中で、校友会

けでは存続できません。再会の場としての機会の提供だ

り方を議論する必要に迫られて令後十年二十年後の校友会の在令後十年二十年後の校友会の在の登屋に、の方を議論する必要に迫られている。

化すると思いますが、両輪での功し、日本大学の今後のイメージや人気がアップすることにないが、校友会組織も自然と活性れば、校友会組織の構造改革が成

られて 議論が期待されます。会の在 化すると思いますが、人が大会組織も自

思い出めくり」



渡邊洋子 高際関係党部校友会参与

校友会員の皆様には健やかに御過ごしのことと存じます。長御過ごしのことと存じます。長い間校友会参与として皆様の御い間校友会参与として皆様の御いまましたことを心から御礼申し上げます。本年八十歳を迎え、りまで歩んで来た道の中で、如今まで歩んで来た道の中で、如今まで歩んで来た道の中で、如の気持ちを表した自叙伝を「思い出めくり」として出版致しました。祝賀会には前学部長佐藤

だまたい。 生など多くの方々に祝っていた 志先生、参議院議員若林洋平先 三武朗先生、衆議院議員細野豪

思い出です。

議師として教えた調理学やフー 講師として教えた調理学やフー 講師として教えた調理学やフー 素道、書道、華道の恩師、日大 本り又ある時は横糸となり皆様 なり又ある時は横糸となり皆様 なり又ある時は横糸とがあり と共に仕上げてきました。本の と共に仕上げてきました。本の 大変道、書道、華道の恩師、日大

> ドコーディネート、日本の食文 魚の調理学を研究したのも良い 深海魚やチョウザメなど様々な 方々との実習などそして室伏先 室も三十年、地域の学校給食の 理教室は三十年、富士紡績の教 食卓の演出を担当し静岡ガス料 のフードコーディネート教室で ることなど、私の日大に残した 詩を書き木の板と共に飾ってあ に佐藤先生の選んでくださった 三島駅に隣接する校舎のロビー に挨拶をしていただき、昔の思 ます。パーティでは野中美香様 教え子は六十代に向かっており 送った日々などです。その時の 化を担当し、 生の町おこしに参加し戸田村の い出を聞いてもらいました。又 人助けや書の作品のこと、特に 一のものです。赤堀料理学園 四十年の歳月を

私の翠月学園では翠月古流華道、茶道、料理、書道、フラワー道、茶道、料理、書道、フラワー幸せであったのは恩師小佐野先幸と、斉藤先生と共に帖地学の仕生、斉藤先生と共に帖地学の仕事が出来た事です。

の生きざまを見ておりました。がった時代に勇気を出した祖母がランティアのまったくな

をかい雑巾を縫い、役所に届け くの人々が戦後七十七年過ぎて 自分でも実践して参りました。 る範囲で一日一善を尽くす事が 十七回になります。自分の出来 ました。老人ホームの訪問は五 設、そして被災地域などに送り ではチャリティを開き、市や施 私もその影響で私の携わった会 たり各施設に配ったりしました。 自分の為に使い、新しいタオル 大事なことです。学生にも教え、 戦争で父を失った私です。多

願いまして、長きに渡る皆様の り御礼申し上げます。校友会の 御厚情に深く御礼申し上げます。 皆様の御多幸とご反転を心から 記念品をいただきました。心よ 事務局長より校友会から賞状と が来ることを願ってやみません。 お互いを助け合う平和な世の中 す。少しでも皆の心が通じ合い、 日にはウクライナ募金を致しま す。翠月学園祭の十月八日、 く平和な世が来ることを願いま も苦しんでおります。一日も早 過日は横山会長、そして田中

ごさせて頂きました。

祖母は自分のお小遣いの半分は

ティックギター部に入部し、音 二つになったことや、アコース プログラムで短期留学も経験さ こと、ゼミナール対抗のディ 楽性が合わず相方と大喧嘩した 多いバレーサークルに入り何度 思い出ばかりでした。飲み会の 期待と不安に胸を膨らませなが ラになればかっこいいと思い、 た大学二年生のときには大学の 出と良い友人が出来ました。ま ベート大会で仲間が緊張し失神 も酔いつぶれ、ケータイが真っ せて頂きました。英語がペラペ したことなど、たくさんの思い 振り返ると大学生活は楽しい

を取り合う親友ができ、そこで ラは無理でしたが、今でも連絡 らニューヨークへ。英語ペラペ 知り合った日本人の女の子と付 き合うことが出来ました。

嗚呼、

思い出の大学生活よ」

山形県支部 幹事(会計担当) 国際関係学部・短大三島校友会

三 森

直

毅

だ金融論や経済学を活かしわか るときでも、ゼミナールで学ん 学入学当初の夢は叶わなかった 関職員として働いています。大 でお客様が不安に感じられてい ものの、最近の円安や物価高騰 界を股にかけるジャーナリス ト」ではなく地域密着の金融機 現在は地元の山形に戻り、「世

に日本大学山形高等学校から

私は平成一八年(二〇〇六年)

す。 す。 り山形に来てくれました。 の子とはその後結婚し、 りやすく説明することが出来ま 総一先生に感謝しておりま ニューヨークで出会った女 ゼミナールの教授である円 妻にな

うと思います。 る事を願いながら頑張っていこ 思い出の三島キャンパスへ行け たいつか妻と子どもを連れて した楽しい日々を思い出し、ま が続いていますが、三島で過ご 最後になりますが国際関係学 コロナ禍で何かと窮屈な日

お祈り申し上げます に校友の皆様のご活躍を心より 部の更なる発展と校友会ならび

校友会優秀賞受賞者



国際総合政策学科四年 点 龍之介

入学し、早三年半が経ちました。 私が日本大学国際関係学部に

対し深いご理解とご支援を賜 ます。また山形県支部の活動に ご健勝のこととお喜び申し上げ の皆様におかれましては、益々

心より感謝申し上げます。

Ļ

四年間三島で楽しく学び過

関係学部・国際関係学科へ入学

スト」になることを夢見て国際 「世界を股にかけるジャーナリ 日本大学国際関係学部校友会

数々は、私の人生においてかけ 所属するゴルフ部での思い出の がえのない財産となりました。 日本大学ゴルフ部は輝かしい

ちでいっぱいです。 間たちと共同生活をする中で、 歴史と伝統を持ち、部員約百三 さった日本大学には感謝の気持 であり、それを実現させて下 境では決して経験できないこと ライバルと日頃から切磋琢磨し バルです。互いに日本一を争う たちも競技者である以上はライ 寂しさを感じたことはありませ いな同期たち。こうした部の仲 れる後輩たち。誰よりも仲間思 にはゴルフの技術を教えて下さ を学ぶことができました。社会 が 様々なことを教えて頂きました 動です。ゴルフ部に所属して 競技に打ち込むことは、他の環 ん。しかし、この素晴らしい仲間 る優しい先輩方。私を慕ってく 人に必要なルールやマナー、更 十名を抱えるとても大きな部活 、特に寮生活では人の大切さ

として多くの合宿に参加させて せんでした。それが運にも恵ま えられるような選手ではありま ことが目標で、日本一なんて考 入部当初はレギュラーになる 一年生の春にレギュラー候補

北アマチュア、そして文部科学 結果、三年次には地元である東 の中心選手としての自覚が生ま 頂いたり、秋には実際にレギュ になりました。 は主将を務めさせて頂けるよう 大臣杯日本学生で優勝し、更に 長することができました。その れ、技術だけでなく心身共に成 たりと段階を踏んでいく中で部 ラーとして試合で起用して頂い

導して下さった、監督、コーチの は男女共に優勝し、結果で恩返 える関東秋季リーグ戦、そして ら尊敬しています。この先に控 存在はとても偉大であり、心か しをしたいと思います。 全国の団体戦である常陸宮杯で これらの成長を常に見守り指

いと思います。 らえるよう最後までやり切りた 持ち、後輩たちに引き継いでも した。歴史と伝統を私が責任を 学生生活は残り半年となりま

卒業後も活動していきたいと思 学びと経験を活かし、多くの人 す。これまでの競技人生で得た れまで私を支えて下さった全て の人たちに心から感謝していま から応援される選手を目指して 最後に、家族を始めとした、こ

各団体代表者

文化会_



国際教養学科四年 . . 本 둆 都

できております。 動や大学生活ではありますが、 型コロナウイルスの蔓延により つつ有意義な時間を送ることが に支えられていることを実感し OBの方々や仲間、そして両親 制限が多くかかった中での部活 属して三年目を迎えました。新 日本大学国際関係学部に入学 Jazz&Fusion 研究部に所

初心者の方もいますが、先輩や ります。うまくいかない時や、 る曲を全体で合わせたりしてお 階の奥の教室で活動しておりま 十四人部員がおり、十二号館五 を受けたりします。 仲間に相談したり、 アップ練習や富桜祭等で披露す す。平日の練習は個人のレベル 現在 Jazz&Fusion 研究部は アドバイス

> り短い大学生活や社会人になっ につけることができ、これが残 ても生かすことができると実感 わずかですが、さらに充実した しています。残るところ今年も 大学生活にしたいと思っており 音楽を通じて「自主性」を身

体育会.



国際教養学科三年 尾 崎 大 翔

ている点が私にとって入部を決 で考えるという自主性を重視し るのではなく、私たち選手自身 純な理由でした。さらに、 経ちました。私がサッカー部に める大きな理由でした。 が練習メニュー、試合構築をす カーを続けたいという至って単 カー部としての活動も二年半が 入部したきっかけは好きなサッ 私が本学部に入学し、 監督 サッ

満足な体育会ライフも送れない ナウイルスの感染拡大により、 しかし、入学当初は新型コロ

> 最も嬉しいことです。 動できていることが私にとって は全員が同じ方向性を持って活 成当初は全員で同じ方向性を持 が増えました。やはりチーム結 続けていったことで多くの仲間 部員はなかなか増えず苦労しま ナウイルスが感染拡大する中 気でチームを変えたいという強 とを決心しました。私自身が本 まま、一年が経ってしまいまし つのは難しかったですが、今で い想いがあったからです。コロ た。二年生になり部長になるこ したが、勧誘活動などの広報を

としても日々頭を悩ませていま 更も多々ある今、 と思います。大会日程などの変 をどう過ごすかはとても重要だ 欠かせないですし、残りの時間 高め合うライバルたちの存在も 緒に活動していく上でお互いに てはいけないと感じました。 なスポーツが出来る幸せを忘れ と、このような状況下でも好き かって汗を流せる仲間がいるこ ポーツの重要性、仲間の重要性 り活動が制限されたことでス ベーションをどう保つか、部長 を感じました。同じ目標に向 コロナウイルス感染拡大によ 部員のモチ

これまでの活動や体育会会長

早くコロナウイルスが収束し、 しくお願いいたします。 ŧ, ることを願っています。今後と 伸び伸びと活動が行える日が来 なければならないと感じました。 任感を強く持ち、行動していか るかを考えて行動できるように を経験できたことで、 なりました。さらに、 サッカー部、体育会をよろ 、何が出す 自覚と責

富桜祭_



中学校、 高校と六年間学園祭 茂 野 友 哉

国際総合政策学科三年

こに怒りと悔しさをぶつければ なくされ、学園祭実行委員会と すべてオンラインとなりました。 当然のように富桜祭実行委員会 実行委員会を続けてきた私は、 して青春を謳歌してきた私はど 富桜祭もオンライン開催を余儀 では自粛生活が始まり、授業も きると考えていた矢先、世の中 ように対面式の学園祭を運営で に所属しました。そして当然の

担います。今年度は現実的な課 取り戻したいという思いで今年 が非でも復活させたい、活気を 思いで二年生になりましたが 団体による学術的な企画を展開 題を考慮し、ゼミナールや学生 THと定めて活動してきました。 度の富桜祭テーマをREBIR ない私は、残ってくれたメン 青春です。どうしても諦めきれ きとパフォーマンスを披露する 模擬店を出店する学生、生き生 場してくださるお客様の笑顔、 現できない空間を作りだし、来 を盛り上げることはできました 確かにオンラインでも地元と飲 しつつ、地元の企業や団体の力 過去の企画にひねりを加え復活 の醍醐味であり、 学生の笑顔を見ることが学園祭 画面上の文字や写真では到底表 た。スマートフォンからの音声、 を味わうことはできませんでし が、どうしても対面らしい活気 の活動を紹介する企画で富桜祭 食店を取材する企画や学生団体 オンライン開催が決定しました。 感染状況は変わらず、引き続き (一とともに対面の富桜祭を是 復活という意味のとおり、 後世に軌道を戻す役割を 私にとっての

卒よろしくお願いいたします。 今後とも富桜祭実行委員会を何 て取り組んでまいりますので、 祭実行委員会一同は力を合わせ 気を取り戻せるよう私たち富桜 見舞われた世の中に、大学生活 ウイルスという予期せぬ事態に となってきました。新型コロナ てきた富桜祭準備も少しずつ形 います。暗中模索の状態で始ま げられるような企画を用意して もお借りして三島全体を盛り上 に、そして富桜祭に少しでも活 事あるごとに壁にぶつかっ

校友紹介

国際関係学部国際文化学科 昭和五十九年度卒

森本弘亮 (旧姓:丸橋)

秋も深まってまいりましたが、

域の皆様に、、この場をお借り 皆様、先輩、 ことを日本大学、学校関係者の 充実した学生生活を送れました 境で学ばせていただいたこと、 前になりますが、素晴らしい環 皆様いかがお過ごしでしょうか した際に、 数年前に、 感謝申し上げたいと思います。 私が在学したのは、四十年程 三島の街を散策した 横山会長とお会い 同級生、後輩、

> 認識いたしました。 改めて三島市の素晴らしさを再 水が滔々と流れる様子を見て、 のですが、街中を富士山の伏流

来年こそは、とどこか歯がゆい

いのか分かりませんでした。

と、サークルでは演出部に入部 ングしたことが思い起こされま 伊豆、西に三保の松原、 イベートでは、東に箱根、南に い仲間と活動できたこと、 学友会では横山会長や素晴らし 士山と、仲間とバイクでツーリ し、舞台照明を経験したこと この街で勉学にいそしめたこ 、北に富 プラ

せていただきます。 業いたしました私の事を書かさ ということで、十五年程前に起 国際関係学部の卒業生の現在 この度、新企画としまして、

を卒業しようかという時期でし 末の子どももようやく学校 私も妻も勤め人でし

質表示ラベルを作って欲しいと ることを知りました。 野菜や加工品を直接販売してい 直」という生産者個人が自身で 依頼があり、その時初めて「産 していた義母から、加工品の品 を道の駅の産直コーナーで販売 価格を決め、ラベルを張り付け ある時、農産加工品(漬物等)

> を販売する事業を始めることに と相談し二人で農産物の加工品 安と、まだ四十代でしたので新 しました。 いと思う気持ちが相まって、 しいことにチャレンジしてみた

今日に至っております。 最初は右も左もわからず、

菊芋製品 (粉末、お茶)、米粉・ うりの奈良漬等々)、焼肉のタレ、 ライム、福来みかん、温州みかん、 橘(すだち、かぼす、ゆず、レモン 玄米粉、桜の塩漬け、季節の柑 きょう甘酢漬け、かりもり・きゅ お漬物(たくあん、梅干し、らっ

ショッピング、ストアーズ、ポ 興味のある方は一度覗いて見て ホームページもありますので、 ケットマルシェで販売しており、 も開始しました。現在は、ヤフー ろうということで、ネット販売 スーパーだけでは限界があるだ 起業当時から、地元産直や

若く、後先考えずに始めたこと 起業に関しては、当時はまだ

そこで将来への漠然とした不

で、 社会人時代よりも出会いは少

先も何軒か開拓し、軌道に乗せ でアレンジを加え、新たな委託 えてもらい、それらに自分たち ケージング等々、義父母から教 産物の栽培、加工の仕方、パッ

夏みかん等々)です。 販売品目といたしましては、

> この年になり振り返ってみます うのが本音です。 と、頑張ってきて良かったとい 躊躇したりもしましたが、

謝の一言です。 出会った人からは色々な事を教 だいたり、長くお付き合いをし ていただいている方もみえ、感 えていただいたり、助けていた なくなりましたが、その中でも

申し上げます。 ただいた横山会長に改めて御礼 ただきたいと思います。 は、良いチャンスをつかんで 葉がありますが、学生の皆様に 最後に、この投稿の機会をい 思い立ったら吉日、という言

e.net/ https://www.kikuimo-kichisuk 屋号:吉助(きちすけ



事 業 報 告 令和3年度

- 1,000個を聚性し 令和3年4月人子に及び国际関係子部北びに短期人子部(二高) 召子行の利人会報義行会 会報52号を令和3年10月22日付け24頁 20,100部を発行した。 各事業に対する補助 ①国際同窓会・桜栄会及び山形県支部に対する補助 ②大学の体育会・文化会に対する補助 常任幹事会 令和3年6月5日(土)16時30分から,国際関係学部本校舎 校舎15号館5階において開催した。 竣車令

- 令和3年6月5日(土)16時30分から、国際関係学部本校舎 校舎15号館5階において開催した。 幹事会 令和3年6月5日(土)17時10分から、国際関係学部本校舎 校舎15号館5階において開催した。 総会並びに懇親会 令和3年7月3日(土)15時30分から、みしまプラザホテルにおいて開催する予定であったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 国際校友会公式WEBサイト更新 令和3年4月から公式WEBサイト(ホームページ)に年間10回に渡り校友会行事を写真集として更新した。 富核祭物産展参加 令和3年10月30日(土)10月31日(日)両日に開催された第71回富核祭に校舎15号館1階スタディエリアの一部を使用して校友会主催による地元特産物等の販売予定 であったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 ホームカミングデー開催 令和3年8月15日(木)16時から20時まで佐藤塾(本町交差点)にて日大三島高校同窓会三島支部との共催による『三島大祭りバージョン』と称して開催を予定した が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

- 令和3年8月15日(木) 16時から20時まで佐藤塾(本町交差点)にて日大三島高校同窓会三島支部との共催による『三島大祭りバージョン』と称して開催を予定したが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 令和3年10月30日(土) 11時から15時まで校舎13号館2階講師室にて開催を予定したが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 銀杏並木歩道清掃作業 本校舎西側(県道21号線)歩道両側の清掃作業を実施した。ボランティア活動の一環として毎月第4日曜日の午前9時から約1時間、銀杏並木南側歩道橋附近から北側幸原町交差点までの両側歩道植え込み清掃を本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため本年度は5月23日を第1回目として9回実施し、参加者は校 友会会員に加え日大三島高校生徒延104名が参加した。 三島学園開設75周年記念事業 委員長を横山雅人会長にし、検討委員会を設け委員の選出は委員長に一任する意見が出され承認された結果、委員として、宮下公雄・濱田義之・山田浩子・江本博 勝・平澤佳代子・弓場重明各副会長、田中由雄幹事長、柴田 正・小早川隆義・野中美香各顧問、渡辺洋子参与以上12名とし、7月17日・11月13日・3月26日の3回の 委員会を開催した。検討の結果、新型コロナウイルス感染防止のため記念式典はコロナウイルス感染が収まった時期に開催し、今年度については校舎15号館南側 に時計塔を設置寄贈することとなった。

収支決算書(平成3年4月1日~令和4年3月31日) 令和3年度 (単位:円)

支	出	の部			ų	L	入	の部	
項目	予 算 額	決 算 額	差額	項		日	予 算 額	決 算 額	差額
奨 学 費	390,000	170,000	220,000	会	費 収	入	13,372,000	17,220,000	△ 3,848,000
校友会報発行費	900,000	898,700	1,300	雑	収	入	780,000	3,682	776,318
各科同窓会等補助	300,000	150,000	150,000						
学 生 団 体 補 助	800,000	310,000	490,000						
総会並びに懇親会費	1,000,000	0	1,000,000						
箱根駅伝応援補助	920,000	0	920,000						
本部校友会会費	470,000	470,000	0						
入学記念品費 卒業記念品費	500,000	495,000	5,000						
卒業記念品費	1,500,000	1,040,000	460,000						
卒業記念品費会議会合費	300,000	195,451	104,549						
通信運搬費	2,000,000	2,211,597	\triangle 211,597						
ホームページ運営費	400,000	404,800	△ 4,800						
事 務 費	1,400,000	1,048,128	351,872						
会員名簿作成費	100,000	59,840	40,160						
就職合同面接会運営費	0	0	0						
日本大学130周年記念寄付金	100,000	100,000	0						
雑費	600,000	240,380	359,620						
国際関係学部校友会奨学金支援基金	250,000	250,000	0						
予 備 費	0	0	0						
	11,930,000	8,043,896	3,886,104				14,152,000	17,223,682	△ 3,071,682
基金繰入額	300,000	300,000	0	基	金繰出	額	0	0	0
次年度繰越金	35,437,603	42,395,389	△ 6,957,786	前	年 度 繰 越	金	33,515,603	33,515,603	0
(繰越金)	35,437,603	42,395,389							
支出の部合計	47,667,603	50,739,285	△ 3,071,682	収	入の部合	計	47,667,603	50,739,285	△ 3,071,682

照 表 (令和 3 年 3 月 31 日現在) 貸 借 対 (単位:円)

	借	Ť		方			貸	方	
項			目	金	額	項	I	金	額
普	通	預	金		57,395,389	基	金		20,940,000
定	期	預	金		5,940,000		前 年 度 繰 越 金		20,640,000
							本 年 度 繰 入 額		300,000
							本 年 度 繰 出 額		0
						次	年 度 繰 越 金		42,395,389
							繰越金		42,395,389
							·		
							·		
合			計		63,335,389	合	計		63,335,389

基 金 訳 内 0 (単位:円)

項目	前年度繰越額	本年度繰入額	本年度繰出額	合 計
基金	20,640,000	300,000	0	20,940,000
日本大学創立150周年記念事業基金準備金	6,880,000	100,000	0	6,980,000
国際関係学部創立50周年記念事業基金準備金	6,880,000	100,000	0	6,980,000
三島学園開設75周年記念事業基金準備金	6,880,000	100,000	0	6,980,000
計	20,640,000	300,000	0	20,940,000

令和3年度収支について関係帳簿並びに証拠書類を精査いたしましたが、記帳その他正確であることを認めます。

令和4年4月26日

会計監査 木 村 貴美和 @ 会計監査 藤 本 文 彦 印

事 業 計 令和4年度 曲

1 国際関係学部校友会会長賞等授与(副賞:奨励金もしくは奨学金) 日本大学国際関係学部及び短期大学部(三島校舎)令和5年3月卒業・4月進級の予定者を対象とする。 ・校友会会長賞並びに奨励金 国際関係学部 4年卒業予定者 3名

4年卒業予定者 4年卒業予定者 3名4名2名 ・校友会優秀賞並びに奨励金 国際関係学部 短期大学部(専攻科含む) 2 年卒業予定者 国際関係学部 2・3 年在学生 ・校友会優秀賞並びに奨学金 4名 短期大学部(専攻科含む)1年在学生 2名

メタルクラフト

1,000個を製作し令和4年4月大学院及び国際関係学部並びに短期大学部(三島校舎)各学科及び専攻科の新入生全員に対して入学祝として渡す。

会報発行

会報53号(令和4年10月25日付)26頁 22,100部発行予定。 各事業に対する補助 ①各科同窓会及び支部に対する補助 ②大学体育会・文化会に対する補助

③箱根駅伝応援 (予選会含む) に対する補助

常任幹事会 令和4年6月4日(土)16時30分から、国際関係学部本校舎 校舎15号館において開催する。

令和4年6月4日(土)17時30分から,国際関係学部本校舎 校舎15号館において開催する。

令和4年6月4日(エ)17時30万から、国際國保予部本校告 校告15号期に総会並びに懇親会 令和3年7月3日(土)15時30分から、みしまプラザホテルにおいて開催する。 国際校友会公式WEBサイト更新 年間行事を写真集として更新する。

箱根駅伝予選会応援

令和4年10月22日(土)国営昭和記念公園コースのスタート・ゴール地点及び中間地点で応援する。

富桜祭物産展参加 令和4年10月29日(土)・30日(日)に開催される第72回富桜祭に校舎15号館1階スタディエリアの一部を使用して10時から16時まで校友会主催による地元特産物等

令和4年10月29日(上)つ0日(日)に内間になるが12日間は次により、 の販売に参加する。 ホームカミングデー開催 令和4年8月15日(月)16時から20時まで佐藤塾(本町交差点)にて日大三島高校同窓会三島支部との共催による「三島大祭りバージョン」を国際関係学部・短期 大学部(三島)及び日大三島高校卒業生並びに法・文理・経済・商学部移行生を対象として開催する。 令和4年10月29日(土)11時から15時まで校舎13号館2階講師室にて国際関係学部・短期大学部(三島)及び法・文理・経済・商学部移行生を対象とした学園訪

箱根駅伝応援

令和5年1月3日(火)復路スタート応援地点で応援する。また。令和5年1月2日(月)往路ゴール応援地点及び令和5年1月3日(火)復路スタート応援地点で国際関係 学部チアリーディング部・文化会所属吹奏楽部の学生が応援に参加する。 銀杏並木歩道清掃作業

歌日本小学通讯市インス ボランティア活動の一環として、本校舎西側(県道21号線)歩道両側の清掃作業を実施する。 実施日は毎月第4日曜日午前9時から約1時間とする。 三島学園開設75周年記念事業

今和3年度検討委員会により校舎15号館南側に時計塔の設置が決定し、令和4年7月完成を予定しております。令和4年度検討委員会では、祝賀会等について検 討していきます。

収 支 予 算 書 令和4年度 (令和4年4月1日~令和5年3月31日) (単位:円)

	• • •		<u> </u>											
支	出	の部					収		入	(か	部		
項目	本年度予算額	前年度予算額	差	額	項		E	1	本年度予	算額	前年度予	算額	差	額
奨 学 費	390,000	390,000		0	会	費」	収 入		16,520,0	000	13,372	,000		3,148,000
校友会報発行費	900,000	900,000		0	雑	収	入		780,0	000	780	,000		0
各科支部等補助	300,000	300,000		0										
学 生 団 体 補 助	800,000	800,000		0										
総会並びに懇親会費	1,000,000	1,000,000		0										
箱根駅伝応援等補助	920,000	920,000		0										
本部校友会会費	470,000	470,000		0										
入学記念品費	500,000	500,000		0										
卒業記念品費	1,500,000	1,500,000		0										
会議会合費	300,000	300,000		0										
通信運搬費	2,200,000	2,000,000	200,	,000										
ホームページ運営費	400,000	400,000		0										
事 務 費	1,400,000	1,400,000		0										
会員名簿作成管理費	100,000	100,000		0										
就職合同面接会運営費	0	0		0										
日本大学130周年記念寄付金	100,000	100,000		0										
雑費	900,000	600,000	300,	,000										
国際関係学部校友会奨学金支援基金	250,000	250,000		0										
予 備 費	300,000	0	300,	11										
計	12,730,000	11,930,000	800,			計			17,300,0	000	14,152	,000		3,148,000
基金繰入額	500,000	300,000	200,	,000		金繰	出額	•		0		0		0
次年度繰越金	46,465,389	35,437,603	11,027,	786	前年	三 度 繰	良越 金	:	42,395,3	389	33,515	,603		8,879,786
(繰越金)	46,465,389	35,437,603												
支出の部合計	59,695,389	47,667,603	12,027,	786	収り	(の音	『合計	ŀ	59,695,3	389	47,667	,603	1	2,027,786

基 内 訳 金 0

(単位:円)

		_	• • • •				· · · · · ·
	項	目	前年度繰越額	本年度繰入額	本年度繰出額	準 備 金	合 計
Г	基	金	20,940,000	500,000	7,080,000	5,000,000	19,360,000
	日本大学創立150周年記念事	事業基金準備金	6,980,000	100,000	0	0	7,080,000
	国際関係学部創立50周年記念	:事業基金準備金	6,980,000	100,000	0	0	7,080,000
	三島学園開設75周年記念事	事業基金準備金	6,980,000	100,000	7,080,000	0	0
	国際関係学部校友会発足35周年	F事業基金準備金	0	200,000	0	5,000,000	5,200,000
	計		20,940,000	500,000	7,080,000	5,000,000	19,360,000

令和4年度役員

									~R6.3.31)			
役	職	氏 名	名 (在学年度)	役	職	氏	名(在学年度)	役	職	氏	名(在学年度)	
教養	·学部			会	長	横山雅	人 (56~59)	顧	問	柴 田	正 (41·42)	
幹	事	坂口正	剛(37)	副会			雄 (54~57)	顧	問		圣義 (42·43)	
幹	事	小石川宣見	照 (37)	副会			之 (45)	顧	問		香 (55.56)	
幹	事	渡辺博	夫 (37)	副会			子 (41.42)	/供	l+1	21 / /	. Н (00 00)	
幹	事	両角	勇(42)	副会			勝 (46·47)					
幹	事	江川	学 (42)	副会			院 (40 47) 院子 (58·59)					
幹	事	林田孝	二 (43)									
幹	事	藤幡俊	量 (46)	副会			明(44·45)					
幹	事	野村諒	子 (46)	幹事			雄 (42·43)					
幹	事	高藤省	三 (49)	常任幹	争一		$= (57 \sim 60)$					
幹	事	瀧本	専 (53)	常任幹			子 (56~59)					
幹	事	中川 -	-(56)	常任幹	事	染谷徳	昭 (42·43)					
桜文	、 会			常任幹	事	山口良	児(43·44)					
幹	事		代 (42·43)	常任幹	事	平岩美知	『子 (44・45)					
幹	事	野村恭	子 (42·43)	常任幹	事	久保田博	淳明(45·46)					
幹	事	園田正-	子 (42·43)	常任幹	事	遠藤晶	子 (44·45)					
幹	事	小永井京	子 (43·44)	常任幹	事	早川清	文 (45·46)					
幹	事		子 (43·44)	常任幹	事	西野和	衛 (46·47)					
幹	事		子(44·45)	常任幹	事	瀬川	宏 (47·48)					
幹	事		子(44·45)	常任幹			代 (47·48)					
幹	事		子 (44·45)	常任幹			吾 (47·48)					
幹	事		美(45·46)	常任幹		鈴木	允 (48)					
幹	事		子 (45·46)	常任幹		田代	稔 (50·51)					
幹	事		子 (46·47)	常任幹			程子(50·51)					
幹	事		子 (46·47)									
幹	事		子 (47·48)	常任幹			等子 (51·52)					
幹	事		美(47·48)	常任幹			5み (53・54)			公式WEE	3サイト	
幹	事		美(48·49)	常任幹			美子 (53·54)					
幹	事		技(49·50)	常任幹			$= (54 \sim 57)$	₩. 問意報	新学标程在	240	A-MARINE THE BOX	п
幹	事		美(50·51)	常任幹			代 (56.57)			1		
幹	事		代 (50·51) 7 (51·52)	常任幹			子 (57.58)		1	200	Chattengs the World	
幹 幹	事		子(51·52) 子(51·52)	常任幹	事	高 野	誠 $(57\sim60)$	6	2	25	31	
幹	事事		子(51·52) 子(51·52)	常任幹	事	勝又義	博 (57~60)	- 1	2	THE PARTY OF	TOTAL TOTAL	
幹	事事		美(52·53)	常任幹	事	久 保 和	之 (63·01)				1777	
幹	事		子(52·53)	常任幹	事	久保田裕	子 (01·02)	100.00	1980	1997	THE PERSON NAMED IN	444
幹	事		子 (52·53)	常任幹	事	藤 澤 博	隆 (03·04)	recove		PICS (sector	emin	
幹	事		ぶ (52·53)	常任幹	事	山 瀬	匠 (08·09)	*****	100	F-4		
幹	事		子 (53·54)	常任幹	事	渡邉孝	哉 (09·10)	\$100 (a.m.) \$41,000 \$100,000	STORE IN			
幹	事		美 (53·54)	常任幹	事	勝又勇	旭 (14~17)	The state of	0.474	Poli		
幹	事		子(54·55)	常任幹)香 (23~26)	- CONTRACTOR	****	1.5	* ******	
幹	事		世 (54·55)	常任幹	-	日吉	智 (25·26)	Anne	1149° 117' A			
幹	事		美 (55·56)	常任幹			彦 (52.53)	1-6/12 1-86/106 1-8/10				
幹	事		子(56·57)	宗 宗 常 任幹			€和 (55~58)	-34666		414		
幹	事		苗(56·57)	(会計監査)	7,	/1*11 見ブ	Сти (00 00)			41.4	* 30077001718 08472371	
幹	事		子 (57·58)							# Birth Alab		
幹	事		子 (57·58)							****	* ********	
幹	事		加(57·58)							1.1		
幹	事		美 (58·59)						SHOPE	e Shaq Show or Liveau of Steam	ton Daniel	
幹	事		子 (58·59)					URI	httn	://www	nu-ir-koyukai.j	n/
古스	車		7. (59.50)					OIL	πιρ	., , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	a .i Noyukui.j	ν,

URL http://www.nu-ir-koyukai.jp/

事 佐野裕子(58.59)

幹

役	職	氏 名	(在学年度)	役	職	氏	名	(在学年度)	役	職	氏 名(在学年度))
商経·	. — ±r			幹	事	辻本真由	羊	(51.52)	幹	事	阿部昭子(59.60)	
幹	事	久保田 勝	(38.39)	幹	事	大島裕			幹	事	鍵山美希(59·60)	
幹	事	佐野勝己		幹	事	岡田美喜			幹	事	神田留美子 (60.61)	
幹	事		(39.40)	幹	事	後藤幸			幹	事	佐藤明美(61.62)	
幹	事	土屋忠得		幹	事	療藤みと			幹	事	後藤澄映(61.62)	
幹	事	稲葉知二		幹	事	長澤裕			幹	事	松縄和恵(62.63)	
幹	事	渡辺穂積		幹	事	齋藤千			幹	事	内田美典(62.63)	
幹	事	秋山幸広		幹	事	吉川清			幹	事	中川みどり(62.63)	
幹	事	小澤義明		幹	事			(02.03) (03.04)	幹	事	神戸一葉(62.63)	
·· 幹	事		(46.47)	幹	事	川口恭			幹	事	白石 忍(63.01)	
幹	事	西島典雄		幹	事	白川美			幹	事	田邊久美子(63.01)	
幹	事	関野幹雄		幹	事	小柴慶			幹	事	伊藤芳枝(63.01)	
幹	事	小川正治		幹	事	鈴木靖			幹	事	渡邉陽子(01.02)	
幹	事	近藤芳治		幹	事	津田典			幹	事	山本いづみ (01・02)	
幹	事	津田正克		幹	事	矢澤実奈			幹	事	犬塚久恵(01·02)	
幹	事	甲斐幸博		幹	事	山崎尚			幹	事	鈴木みのり(01.02)	
幹	事	甲斐忠則		幹	事			(13.14)	幹	事	石井三香子 (02.03)	
幹	事	後藤善夫		幹	事	江川真樹			幹	事	原川久美子(02.03)	
幹	事	西島みゆき		幹	事	栗原直			幹	事	渡 辺 幸 子 (02·03)	
幹	事	加藤喜章	(53.54)	幹	事	常 并 裕			幹	事	杉本宏子(02·03)	
幹	事	佐野 徹	(53.54)	幹	事	二又川千恵			幹	事	稲 葉 美 香 (02·03)	
幹	事	鈴木理平	(54.55)	幹	事	渡辺美			幹	事	高 鹿 真 弓 (03·04)	
幹	事	飯山雅一郎	(54.55)	幹	事	阿久津泰			幹	事	森川容子(03.04)	
幹	事	内野祥司	(55.56)	幹	事	大石早耶			幹	事	秋山由紀(03·04)	
幹	事	守野敏也	(55.56)	幹	事	及川枝			幹	事	長瀬理恵子 (03·04)	
幹	事	山田 良	(55.56)	幹	事	澤口真			幹	事	北薗実由貴(03·04)	
幹	事	鈴木明彦	(56.57)	幹	事	鈴木季			幹	事	阿部衣子(03.04)	
幹	事	杉山勝行	(57.58)	幹	事	大澤友紀			幹	事	川口文子(03.04)	
幹	事	黒田文量		幹	事			$(19 \cdot 20)$ $(19 \cdot 20)$	幹	事	長田瑞紀(04.05)	
幹	事	金城三十二		幹	事	高遠順			幹	事	梅田敏江(04.05)	
幹	事	武井直子		幹	事	高田利			幹	事	大畑美代子 (04·05)	
幹	事	酒井賢治		幹	事	山口周			幹	事	植松郁子(05.06)	
幹	事	土佐谷泰子		幹	事	安藤康			幹	事	古川みどり(05.06)	
幹	事		(61.62)	幹	事	山岸			幹	事	古屋美帆(06.07)	
幹	事	川井健一		幹	事	岩崎今日			幹	事	長田弘子(06.07)	
幹	事	野田正人		ビジネ		47 PN / LI	1	(24 20)	幹	事	波多野律子 (06.07)	
幹	事	對木知宏		幹	事	猪狩明	卋	(25.26)	幹	事	齋藤文江(06·07)	
幹	事		(63.01)	幹	事	藤原愛			幹	事	佐野真弓(06.07)	
幹	事	峯 岡 智 裕		幹	事	円谷優			幹	事	稲田友美(07.08)	
幹	事	鈴木孝治		幹	事	望月さや			幹	事	橋本春佳(07.08)	
幹	事	田伏正和		幹	事	栗田麻			幹	事	小林亜希(07.08)	
幹	事	名雪しげみ		幹	事	鈴木菜			幹	事	長川あかね (07.08)	
幹	事		(01.02)	幹	事	芝 美津			幹	事	野村奈央(07.08)	
幹	事		(02.03)	幹	事	今村凌			幹	事	野村美之(07.08)	
幹	事	明石知恵美		幹	事	上田早			幹	事	山崎幸恵(08.09)	
幹	事	林田貴男		幹	事	吉村太			幹	事事	林 隆子(09·10)	
幹 幹	事	川原浩貴小野和彦		幹	事	土屋陽			幹 幹	事事	藤 本 敦 子 (09·10) 工 藤 美 咲 (10·11)	
	事事	小野和厚西家忠宏		幹	事	宮本開				-	工 膝 天 穴 (10.11)	
幹 幹	事事	四 豕 忠 云 今 川 高 宏		幹	事	佐藤花			商経・ 一 幹	-m 事	向笠 肇 (40·41)	
幹	事	町野智彦		幹	事	日馬孝			幹	事	山本譲治(40.41)	
幹	事		(05.06)	幹	事	大塚亜			幹	事	萩野谷 肇 (41·42)	
幹	事	杉山宏治		幹	事	櫻井菜々			幹	事	上田定義(41.42)	
幹	事	鈴木信志		幹	事	高島理			幹	事	加藤久貴(46·47)	
幹	事	池田昌史		幹	事	村嶋祐			幹	事	秋山稔明(46·47)	
幹	事	藤井理教		幹	事	小泉凪			幹	事	海野順子(46·47)	
幹	事	中山洋安		幹	事	近藤優			幹	事	野田 栄 (47.48)	
	•		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		-		_	•		•		

役	職	氏 名	(在学年度)	役	職	氏	名	(在学年度)	役	職	氏	名 (在学年度)
幹	事	渡邉千史	(05.06)	幹	事	四條里	美	(53.54)	桜栄	会		
幹	事	川口由美子		幹	事	鷲巣かほ	ţる	(53.54)	幹	事	板垣利	1代 (36·37)
幹	事	池谷尚美	(05.06)	幹	事	藤原和	美	(54.55)	幹	事	小泉陽	景子 (36·37)
幹	事	中村理恵子	(05.06)	幹	事	原田純	子	(54.55)	幹	事	佐野茂	き子 (37・38)
幹	事	遠藤理愛	(05.06)	幹	事	池谷美津	:子	(54.55)	幹	事	中村満り	里子 (37·38)
幹	事	神尾かほり	(06.07)	幹	事	中澤由利	子	(54.55)	幹	事	米山日出	出子 (37·38)
幹	事	田中里都美		幹	事			(54.55)	幹	事		智子 (38·39)
幹	事	鈴木寛子		幹	事			(55.56)	幹	事		景子 (38・39)
幹	事	山本静香		幹	事	藤田建			幹	事		さよ (38・39)
幹	事	佐藤純子		幹	事			(56.57)	幹	事		恵 (38・39)
幹	事	三須洋美		幹	事	深津久美			幹	事		登世 (38·39)
幹	事	齊藤真由美		幹	事	石谷美智			幹	事		志子 (39·40)
幹	事	和泉久美		幹 *^	事	田中恵			幹	事		子 (39·40)
幹	事	小野澤美和		幹	事			(57.58)	幹	事	関口	瑞 (39·40)
幹	事	小林世以子		幹	事	鈴木江利			幹	事		や子 (39・40)
幹 幹	事事	中林香子		幹 幹	事事			(58·59)	幹幹	事		て子 (39·40) す子 (40·41)
幹幹	事事	水谷鯉恵横田忍	(07.08) (07.08)	幹幹	事事	萩沢洋		(58·59)	幹	事事		き 鶴(40·41) き 鶴(40·41)
幹	事事	中橋智子		幹	事			(58.59)	幹	事		美子(41·42)
幹	事	神戸亜里沙		幹	事	鈴木佳			幹	事		至子 (41·42) 資子 (41·42)
幹	事	兼房はな		幹	事			(59.60)	幹	事		名子 (41·42)
幹	事	石崎由香		幹	事	加藤容			幹	事		き子 (41·42)
幹	事	佐藤美幸		幹	事	藤波佳			幹	事		也子 (41.42)
幹	事	田村理絵		幹	事	稲葉桂			幹	事	伊藝	睦 (41.42)
幹	事		(09·10)	幹	事	藤井由紀			幹	事		· 代 (42·43)
幹	事	渡邊明子		幹	事	穂谷野弥			幹	事		₹代 (42·43)
幹	事	植野敦子	(09·10)	幹	事	小島みな	らよ	(61.62)	幹	事	柴田敬	女子 (44·45)
幹	事	佐野文美	(10.11)	幹	事	久保玲	華	(61.62)	幹	事	川村千年	弋子 (45·46)
幹	事	鞍本鮎美	$(11 \cdot 12)$	幹	事	山下朋	子	(61.62)	幹	事	辻	緑 (45·46)
幹	事	笠原奈津子	$(11 \cdot 12)$	幹	事	鷲尾貴	子	$(62 \cdot 63)$	幹	事	小林秀	等 実 (45·46)
幹	事	宮田朋子	$(11 \cdot 12)$	幹	事	田上順	子	$(62 \cdot 63)$	幹	事	鈴木清	手美 (46・47)
幹	事	鈴木典子		幹	事	山口美			幹	事		聿美 (47·48)
幹	事	小出祐子		幹	事	櫻田智栄			幹	事		聿江 (47·48)
幹	事	山田美穂		幹	事	三宅理砂			幹	事		つ子 (47・48)
幹	事	高橋由実		幹	事			(63.01)	幹	事		日代 (48·49)
幹	事	米永寿子		幹	事	日吉美由			幹	事		妻子 (48·49)
幹	事	新津直子		幹	事	高梨いつ			幹	事		 代 (48·49)
幹	事	大沼秋桜子		幹	事	勝俣千			幹	事		美子 (49·50)
幹	事	高橋美絵子		幹	事	田村尚			幹	事		加子 (50.51)
幹	事	服部直美		幹	事	杉村智			幹	事		ぐみ (50·51) * ス (51·50)
幹 幹	事事	秋 山 絵 操山田真理子		幹 幹	事事	湯原里市川智			幹 幹	事事		美子 (51.52)
幹幹	事事	小野順子		幹	事	用用質			幹	事		圭子 (51·52) → 子 (52·53)
幹	事事	栗田裕子		幹	事			(02.03) (02.03)	幹	事		1代(52.53)
幹	事	河原崎朱里		幹	事	翌月ゆり			幹	事		分代 (52·53)
幹	事	田村美沙子		幹	事	安田ひと			幹	事		き浪(52·53)
幹	事	植松明菜		幹	事			(03.04)	幹	事		至子 (52·53)
幹	事	荻島宏予		幹	事	宮本久美			幹	事		E 江 (52·53)
幹	事	渡邉裕未		幹	事			(03.04)	幹	事		是美(52·53)
幹	事	荒井沙織		幹	事	小澤知			幹	事		見子 (52·53)
幹	事	字野浩吏		幹	事	出口幸			幹	事		〔子(52·53)
幹	事		(16.17)	幹	事	井上雅			幹	事		公子 (52·53)
幹	事	松島佳奈子		幹	事			(04.05)	幹	事		雪 (53.54)
幹	事	中西麻純	(16.17)	幹	事	田村美	保	(04.05)	幹	事	齋藤裕	子 (53·54)
幹	事	増島清美	(16.17)	幹	事	岩下志	保	(05.06)	幹	事	長田智	子 (53·54)
幹	事	萩原美香	(16.17)	幹	事	関屋 園	子	(05.06)	幹	事	船石畫	員子 (53⋅54)

役	職	氏 名	(在学年度)	役	職	氏	名	(在学年度)	役	職	氏	名	(在学年度)
幹	事	勝間田太住	$(47 \cdot 48)$	幹	事	深	谷正城	(23.24)	幹	事	平川	綾乃	(16.17)
幹	事	天野寿一	$(48 \cdot 49)$	幹	事	堀	佑美佳	(23.24)	幹	事	綾部	久美子	(16.17)
幹	事	上原豊和	$(52 \cdot 53)$	幹	事	守	野恭介	$(23 \cdot 24)$	幹	事	桑山	」理 沙	$(16 \cdot 17)$
幹	事	西家勝彦	(52.53)	幹	事	須	藤静香	$(24 \cdot 25)$	幹	事	飯日	泰 恵	$(17 \cdot 18)$
幹	事	久保田武生	(52.53)	幹	事	\mathbb{H}	中菜絵	$(24 \cdot 25)$	幹	事	石川	裕里佳	$(17 \cdot 18)$
幹	事	埜 村 光 伸	(53.54)	幹	事	石	井 さくら	$(24 \cdot 25)$	幹	事	田中	沙季	$(17 \cdot 18)$
幹	事	勝呂千明	(53.54)	幹	事	伊耳	東亜珠沙	$(24 \cdot 25)$	幹	事	堀田	裕貴	$(17 \cdot 18)$
幹	事	鈴木啓太郎	(54.55)	幹	事	杉L	山亜梨沙	$(24 \cdot 25)$	幹	事	隅田	優美	$(17 \cdot 18)$
玉	際			幹	事	成E	日安実里	$(24 \cdot 25)$	幹		岩化	き 貴	$(18 \cdot 19)$
幹	事	川口智彦		幹	事	Щ	田瑞歩	$(24 \cdot 25)$	幹		澤谷	友香里	$(18 \cdot 19)$
幹	事		$(54\sim57)$	幹	事			$(24 \cdot 25)$	幹				$(18 \cdot 19)$
幹	事	柳川浩昭		幹	事	竹		$(24 \cdot 25)$	幹				$(18 \cdot 19)$
幹	事	高野真一		幹	事			$(24 \cdot 25)$	幹				$(18 \cdot 19)$
幹	事	諏訪部 健		幹	事			$(25 \cdot 26)$	幹				$(18 \cdot 19)$
幹	事	小松德弘		幹	事			$(25 \cdot 26)$	幹		秋山		$(18 \cdot 19)$
幹	事	平野雅之		幹	事			$(25 \cdot 26)$	幹				(18.19)
幹	事	福田勝弘		幹	事	中。		$(25 \cdot 26)$	幹				$(19 \cdot 20)$
幹	事	宇田隆康		幹	事			$(26 \cdot 27)$	幹				(19.20)
幹	事	山本宏治		幹	事			$(26 \cdot 27)$	幹				(19.20)
幹	事		(57~60)	幹	事			$(26 \cdot 27)$	幹				$(19 \cdot 20)$
幹	事	森田克彦		幹	事			$(26 \cdot 27)$	幹				(19.20)
幹	事	佐上菊二		幹	事			(26.27)	幹				(20.21)
幹	事	小塚敏久		幹	事			(26.27)	幹				(20.21)
幹	事	横溝泰蔵		幹	事			(26.27)	幹				(20.21)
幹	事	池尻敏広		幹	事			(27.28)	幹				(20.21)
幹	事	土田洋二		幹	事			(27.28)	幹				(20.21)
幹	事	桑原健治		幹	事			(27.28)	幹				(20.21)
幹	事	木俣かおり		幹	事			(27.28)	幹				(20.21)
幹	事	增原伸一		幹	事			(27.28)	幹				(20.21)
幹	事	犬塚重暁		幹	事			(28.29)	幹				(20.21)
幹	事事		$(63\sim03)$ $(63\sim03)$	幹 幹	事事			(28.29)	幹 幹				(21.22)
幹幹	事事	藤田隆		幹	事			(28.29) (28.29)	幹		清水		(21.22)
幹	事		(01 - 04)	幹	事			(29.30)	幹	-			$(21 \cdot 22)$ $(21 \cdot 22)$
幹	事	無 佐藤淳悦		幹	事			(29.30) (29.30)	幹				(21.22) (21.22)
幹	事	在 膝 子 况 高 橋 博 樹		幹	事			(29.30) (29.30)	幹				(21.22) (21.22)
幹	事	商 倘 辱 姻 長谷川哲夫		幹	事			(30.01)	幹				(21.22) (21.22)
幹	事	村上東洋男		幹	事			(30.01)	幹				(21.22) (21.22)
幹	事	須田啓一郎		幹	事			(30.01)	幹				(21.22) (21.22)
幹	事		$(01 \sim 04)$	幹	事			(01.02)	幹				$(21 \cdot 22)$ $(21 \cdot 22)$
幹	事		$(02\sim05)$	幹	事			(01.02)	幹				$(21 \cdot 22)$ $(22 \cdot 23)$
幹	事	門脇正明		幹	事			(01.02)	幹				$(22 \cdot 23)$ $(22 \cdot 23)$
幹	事	藤原誠吾		幹	事			(02.03)	幹				$(22 \cdot 23)$ $(22 \cdot 23)$
幹	事	前田智也		幹	事			$(02 \cdot 03)$	幹				$(22 \cdot 23)$ $(22 \cdot 23)$
幹	事	坂井利彰		幹	事			$(02 \cdot 03)$	幹				$(22 \cdot 23)$ $(22 \cdot 23)$
幹	事	小田純子		工	科	124		(02 00)	幹				$(22 \cdot 23)$ $(22 \cdot 23)$
幹	事	田辺裕司		幹	事	宜	下正傍	(39.40)	幹				$(22 \cdot 23)$
幹	事	田松正樹		幹	事	菅		(39.40)	幹				$(22 \cdot 23)$ $(22 \cdot 23)$
幹	事	西岡昌仁		幹	事			(42.43)	幹				$(22 \cdot 23)$ $(22 \cdot 23)$
幹	事	鎌田文一		幹	事	渡		(42.43)	幹				$(22 \cdot 23)$ $(22 \cdot 23)$
幹	事	沼尻正則		幹	事			(42.43)	幹				(23.24)
幹	事	若松はるか		幹	事	吉		(44.45)	幹		諸星		$(23 \cdot 24)$
幹	事	三宅大介		幹	事			(44.45)	幹				$(23 \cdot 24)$
幹	事		(03~06)	幹	事			(46.47)	幹				$(23 \cdot 24)$
幹	事	小塚達郎		幹	事			(46.47)	幹				$(23 \cdot 24)$
		–											-/

役	職	氏 名	(在学年度)	役	職	氏	名	(在学年度)	役	職	氏 名	(在学年度)
幹	事	白滝成美	$(21 \sim 24)$	幹	事	小澤有	礼	$(12\sim15)$	幹	事	紅林美智子	$-(03\sim07)$
幹	事	茂木宏之		幹	事			(12~15)	幹	事		€ (04~07)
幹	事	松山直弘		幹	事			$(13\sim16)$	幹	事		£ (04~07)
幹	事	大門由佳		幹	事			$(13\sim16)$	幹	事		$(04 \sim 07)$
幹	事	石川雄大		幹	事			$(13 \sim 16)$	幹	事	杉山文子	
幹	事	牧野竜太郎			-					-		
	事事	堀川未来夢		幹 *^	事			(13~16)	幹	事		€ (05~08)
幹				幹	事			(13~16)	幹	事		€ (05~08)
幹	事	中尾光太郎		幹	事			(13~16)	幹	事		€ (05~08)
幹	事	本間淳博	,	幹	事			$(13\sim16)$	幹	事		$(05\sim08)$
幹	事	佐野佑太		幹	事		-	$(13\sim16)$	幹	事		(05~08)
幹	事	高橋義典		幹	事	浅石友里	!子	$(13\sim16)$	幹	事	室伏太郎	$3(05\sim08)$
幹	事	柿沼友哉		幹	事	渡邊頌	子	$(13\sim16)$	幹	事	明石浩一	$-(05\sim09)$
幹	事	前原唯之介		幹	事	大谷津高	章	(13~16)	幹	事	今川 慶	₹ (06~09)
幹	事	秋 間 一 樹	$(25 \sim 28)$	幹	事	河野奈津	:子	$(14\sim 17)$	幹	事	田中智康	€ (06~09)
幹	事	松原大輔	$(25\sim 28)$	幹	事	脇田千	草	$(14 \sim 17)$	幹	事	久 芳 仁	(06~09)
幹	事	石川裕也	$(25\sim 28)$	幹	事	綱 島	昇	(14~17)	幹	事		(06~09)
幹	事	阿久津未来也	$(25 \sim 28)$	幹	事			$(14 \sim 17)$	幹	事		₹ (07~10)
幹	事	仲 萌菜実	$(26\sim29)$	幹	事			$(14 \sim 17)$	幹	事		$-(07\sim10)$
幹	事	嘉代 誠	$(26\sim29)$	幹	事			$(14 - 17)$ $(14 \sim 17)$	幹	事		$3(07 \sim 10)$
幹	事	坂本早穂										
幹	事	小野勇太		幹 *^	事	内村		$(14\sim17)$	幹	事		$(07 \sim 10)$
幹	事	武藤航至		幹	事			(14~17)	幹	事		(07~10)
幹	事	野間口 健		幹	事			(15~18)	幹	事		(08~11)
幹	事	山本大樹		幹	事			(15~18)	幹	事		(08~11)
幹	事	橋本竜摩		幹	事	小倉宏	紀	$(15\sim18)$	幹	事		(08~11)
		周 田 田 柑 祐 梨		幹	事	宮 腰 治	憲	$(15\sim18)$	幹	事	金子浩二	$(08\sim11)$
幹	事			幹	事	田野口階	太	(15~18)	幹	事	内田 修	€ (08~11)
幹	事	井上和也		幹	事	菅家奈都	泛美	(15~18)	幹	事	成田哲浩	÷ (09~12)
幹	事	星野陸也		幹	事	藁 谷 和	正	(17.18)	幹	事	井上美由紀	1 (09~12)
幹	事	大澤和也		幹	事	岩井小百	i合	(16~19)	幹	事	井上明子	$-(09\sim12)$
幹	事	上原隼人		幹	事			(16~19)	幹	事		t (09∼12)
幹	事	松岡慶樹		幹	事			$(16\sim19)$	幹	事		₹ (10~13)
幹	事	岡部 星輝		幹	事			$(16 \sim 19)$	幹	事		L (10~13)
幹	事	小森聖也		幹	事	笠倉		$(16 \sim 19)$	幹	事		$\frac{1}{2}(10 - 13)$
幹	事	大澤和也		幹				$(17\sim20)$	幹			\$ (10~13)
幹	事	小澤 拓 馬	$(27 \sim 30)$									
幹	事	今野大喜	$(27 \sim 30)$	幹 *^	事			$(17\sim20)$	幹	事		1 (10~13)
幹	事	石川真世	(28~01)	幹 *^	事			$(17\sim20)$	幹	事		€ (10~13)
幹	事	中川幸輝	(28~01)	幹	事			$(17\sim20)$	幹	事	水野京子	
幹	事	篠田宏樹	(28~01)	幹	事			(17~20)	幹	事		- (11~14)
幹	事	青木伊織	(28~01)	幹	事			$(17\sim20)$	幹	事		€ (11~14)
幹	事	石川和樹	(28~01)	幹	事			$(17\sim 20)$	幹	事		$-(11\sim14)$
幹	事	英 菜々子		幹	事	笠原菜块	上子	$(17\sim 20)$	幹	事		₹ (11~14)
幹	事		(28~01)	幹	事	古山結	子	$(17\sim 20)$	幹	事	竹 村 直	$E(11\sim14)$
幹	事	山下鉄平		幹	事	匹田映吏	可可	(18~21)	幹	事	木下真由美	€ (11~14)
幹	事	表谷健斗		幹	事	勝又智	子	(18~21)	幹	事	若月朋子	$-(11\sim14)$
幹	事	井上悦嗣		幹	事	緒方義	明	(18~21)	幹	事	齋藤久美総	₹ (11~14)
幹	事	氏家美里		幹	事	後藤奈津	子	(18~21)	幹	事	川村友江	. (11~14)
幹		高田涼太朗		幹	事			(18~21)	幹	事		₹ (11~14)
	事ョ	馬田尔太岛 黒岩涼汰		幹	事			$(18 \sim 21)$	幹	事		(11~14)
幹	事			幹	事			$(18 \sim 21)$ $(18 \sim 21)$	幹	事	鈴木さや夏	
幹	事	丹羽翔子		幹	事			$(19 \sim 22)$	幹	事	川下知恵	
幹	事	星川ひなの						$(19\sim22)$ $(19\sim22)$		事事		$(12^{\sim}15)$
幹	事		$(30 \sim 03)$	幹	事				幹			
幹	事	竹井柊斗		幹	事			$(20\sim23)$	幹	事		$(12 \sim 15)$
幹	事	大石亮人	(30~03)	幹	事			$(20\sim23)$	幹	事		(12~15)
				幹	事			$(20\sim23)$	幹	事		$(12\sim15)$
				幹	事			$(20\sim23)$	幹	事		$(12\sim15)$
				幹	事	小杯訓	犬	$(21 \sim 24)$	幹	事	原 順子	$= (12 \sim 15)$

国際関係学部 校友会総会

ていたします。 三項に基づき総会承認議事とし 事までを、会則第五章第十二条第 認された、第一議事から第十二議 の常任幹事会並びに幹事会で承 また、令和四年六月四日(土)開催 様に中止とさせていただきました。 大防止の影響を鑑み、一昨年度同 今般の新型コロナウイルス感染拡 おいて開催される予定でしたが 三十分からみしまプラザホテルに 令和四年七月二日(土)十五時

- 令和三年度事業報告
- 令和四年度事業計画に関する件 令和三年度決算報告
- 令和四年度予算に関する件
- 富桜祭物産展実行委員に関する件

令和四年度新幹事に関する件

- ホームカミングデー実行委員
- 三島学園開設七十五周年記念 執行委員に関する件
- 功労者表彰に関する件
- 国際関係学部校友会関係物 故者について
- 校友会会報(第五三号)原稿 依頼について
- その他

参与を委員として委嘱した。 弓場各副会長、田中幹事長、柴 委員は横山会長を委員長とし宮 続して事業に当たりたい。検討 年度も引き続き検討委員会を継 記念事業の当該年度となるが本 事業については、昨年度が周年 ◎三島学園開設七十五周年記念 下・濱田・山田・江本・平澤・ ·小早川·野中各顧問、渡辺

等を検討する。 典開催の有無及び記念品の選定 時計塔の設置を令和四年六月一 事業として校舎十五号館南側に 十五日に完成した。引き続き式 月十九日・三月二十六日と四回 七月十七日に十一月十三日・三 検討委員会を開催した。記念 なお、令和三年度は第一回を



局から頂き一覧表にした。 正会員加入者を本部校友会事務 入者名簿については、令和四年 ◎国際関係学部校友会正会員加 二月末日の国際関係学部校友会

会長からの加入者増員のお願

ます。 て頂きますようお願い申し上げ で令和四年度も引き続き継続し い文章も添付しておきましたの

ています。 込用紙は「きずな」に添付され また新規加入者大歓迎です振

校友会事務局からのお知らせ

しております。 集合場所 大学門入って右手 銀杏並木歩道清掃作業 約一時間程度本校舎西側道路 ◎銀杏並木きずな清掃作業 (県道二十一号線)両側 校友皆様方のご参加をお待ち 毎月第四日曜日午前九時から

度と同様に記事の掲載をして頂 くため七月二十四日清掃開催日 ます。「日本大学新聞」に初年 に取材が行われ、八月二十日第 四二五号に掲載されました。 今年度五月から七年目に入り

の親睦と社会貢献を目的として に長く(六十回目)続くとは思 から参加していますが、こんな ◎きずな清掃に参加して一言 いう会員の要望で始まったきず 定期的に集まる場を設けようと いませんでした。校友・同窓生 に私は、二〇一六年の第一回目 「イチョウ並木きずな清掃」

> みます。 な清掃を、これからも私は参加 の皆様が参加して下さる事を望 しようと思うと共に多くの会員

友 江本

ゴミもあなたの良心も、 責任を持って処理してもらいた けました。自分のゴミは、各自 た時はビックリして、交番に届 ました。さすがに免許証を拾っ は、マスクが目に付く様になり ボトルは必ずあります。最近で い出します。缶・ビン・ペット いと思います。〝捨てないで 初めて清掃活動に参加した時 吸殻の多さに驚いた事を思

さしい絆をむすぶことができる とつのきっかけとして人々がや この小さな身の周りの清掃をひ そして世界を取り巻く今こそ、 ます。様々な事象が私達の周囲 ら誘われた月に一度の「絆」清 をする私達の心を和ませてくれ 冬折々にその表情を変えて掃除 掃。日大銀杏並木通りは春夏秋 に三島へ帰ってきて横山会長か 東京への転勤から二十年振り 友 勝又 義博

清掃活動が開始されて7年が 校 よう願います。

校生の皆様、ありがとうござい

いているOB・OGの方々、高 経過しました。参加していただ

> 態を見てうれしく思っておりま ウ並木が綺麗に保たれている状 ます。皆様のおかげで、イチョ 皆様の理解を得られて多くの参 加者で活動出来ます事を願って す。今後も続けていけるよう、

おります。

友

中川

けたいと思います。 気持ちよいです。これからも続 す。すれ違う方と交わす挨拶も 心身ともにリフレッシュできま 朝から行なう仲間との清掃で

島市民が加わり「きずな」が少 り令和四年五月二十二日で七年 の交流と銀杏並木の美しさが継 徒大学ボランティア活動部と三 窓生と日大三島生徒会役員の生 目を迎えることができ、当初校 学西側歩道の第一回清掃が始ま しずつ大きくなり、参加者同士 友会会員から始まり次に三島同 平成二十八年五月二十二日大 友

友 田中 由雄

です。

続されて参加して頂ければ幸い

先輩・後輩達と、毎回楽しく参 ったというだけで親近感がある 感じられ、同じ高校の門をくぐ や銀杏、学校行事などで季節が す。月に一回の清掃ですが、桜 なって、五年ほど経つと思いま きずな清掃に参加するように

加しております。

年も経つのにピンクの帽子をか ませんでした(笑) ぶることになるとは思ってもい ・・・まさか、卒業して何十

娘(のえる):夏は暑くてちん 態」を妄想したりしながら楽し くお掃除しております♪ になっているのだなあと「生 待ちでポイッとすることが習慣 銘柄のものが落ちていて、信号 ポイ捨てもいつも同じ所に同じ とに喜びを感じ始め、タバコの 加を重ねるとゴミを見つけるこ 散歩をかねて・・・でした。参 きっかけは娘(チワワ)のお

日大三島二年

上野山結仁

がとうございました。 になりました。貴重な経験あり 方々に感謝の気持ちがいっぱい ら清掃をしてくださっている とができました。そして普段か 清掃をしたという誇りを持つこ 麗にすると登下校の度、自分が して初めてボランティア活動を 徒会に入り「きずな」清掃を通 を自主的に行ったことがなく生 しました。何気ない通学路を綺 私は普段、ボランティア活動 般 はる・まさえ・さわ

人と関わり町の現状を通じて清 きずな清掃に参加して地域の 日大三島二年

より、

ことができました。ふだん何気

うになり感謝している所存。 普段の生活で清掃を心掛けるよ 僕を中心としてドーナツ状態と たとしても、使うたびにその物 掃が苦手だ。物の定位置を決め わりの大切さを学んだ。僕は清 なる。しかしこの活動を通して、 が近くに寄っていき最終的には 掃することの大切さや人との関

石井 美恵

ざいました。 掃除をしましたが、終わる頃に てよかったです。ありがとうご た。「きずな」清掃に参加でき は、どこかワクワクしていまし かになるため、朝から集まって 掃除をすると自分の心が清ら

日大三島三年

海老原

捙

う形ですが、一般生徒も共にや とうございました。 す。来年は色々な生徒でできた 域活性化にもつながると思いま 会のメンバーで掃除をするとい 少しでも綺麗にできたこと、と もらっているこの登下校の道を 年が経ちました。普段歩かせて らと思います。今年一年ありが れば、より良い学校作りにも地 ても嬉しく思います。今は生徒 私はこの三島に通い始めて4

きずな清掃に参加したことに 日大三島二年 私は裏方の大切さを学ぶ

ございました。 知りました。三年間ありがとう されているからこそ、私たちが なく歩いている道も、階段もす 気持ちよく使うことができると べて誰かの手によってきれいに

街の景観は簡単に変わります。 けど、その小さな行動ひとつで ゴミを拾うことも小さな行動だ を拾てることも拾てられている ミが沢山落ちていることに気づ て思いました。 くことができました。道にゴミ きずな清掃に参加して、自分が するようなことはしないと改め 普段使っている道にも小さなゴ だから、これからもポイ捨て 日大三島三年

生活にも活かすことができまし とで、地域を知ることができる 域の方々と一緒に清掃をするこ 普段あまり接することのない地 ます。普段使っている通学路を ができ生徒会活動や普段の学校 と共に地域の人の声を聞くこと 経験をさせて頂けたと思ってい 掃に参加しており、すごく良い た。今までありがとうございま 私は一年生の頃からきずな清 日大三島二年 風晴 聡子

毎回落葉が多く隅のやつは取り 歩道橋を主に清掃しましたが、 日大三島三年

> 当じゃない月にもよく行ってま う活動をしたいです。 した。大学生になってもこうい 奉仕活動することが楽しく、担 づらかったです。仲間と一緒に

小田嶋 蓮 思いました。

勝亦 珠菜

思いました。ポイ捨てはよくな 学前の銀杏並木がとてもきたな ねない物は捨てないでほしいと なったらどうするんだろうなと コのゴミが意外とあり、火事に て大変だなと思いました。タバ 掃をすると大量のゴミが出てき いということを知りました。清 いがタバコなどの災害になりか きずな清掃に参加して日本大 日大三島三年 坂本 誠大 ます。 継続していけることを願ってい

動をしたいです。 体験を生かしこれからも奉仕活 ず行くことができました。この のは気持ちがよく、毎月欠かさ 起きして学校に行って清掃する 普段早起きしない日曜の朝に早 どくさいなと思っていましたが とだと思いました。初めはめん が、朝に清掃することはいいこ 一年の時から行なってました 日大三島二年

の掃き掃除をすることで国際関 て学校周辺のごみ拾いや歩道橋 われる「きずな」清掃に参加し 約三年間、 生徒会執行部に所属してから 日大三島三年 毎月第四日曜日に行 澤野

が更に深まったように感じられ 係学部校友会のみなさんと日大 いです。今後もこの清掃活動を てとても嬉しい気持ちでいっぱ 三島高校の生徒会執行部との絆

したが、「きずな」清掃を通し する機会も減ってしまっていま 機会は貴重だったのでとても楽 思いました。毎月、月末の日曜 いになり、とても嬉しい気持ち 目身の心も、学校の周りもきれ いただきました。清掃を通して、 て、たくさんお話をする機会を なってからは地域の方とお話し 掃に参加しました。コロナ期に て執行委員になり、すべての清 は積極的に拾っていきたいです。 しく参加することができました。 日に地域の方たちと交流できる きたので掃除して良かったなと れいになり、気持ちよく通学で して自分たちの学校の周りがき 私は、「きずな」清掃に参加 私は保健委員、学級委員とし 日大三島三年 日大三島二年 今後も道端に落ちているゴミ 高山 姫瑠 児山 そら

道のゴミ拾いやほうきで歩道橋 とても良かったと思います。歩 日大三島二年 「きずな」清掃に参加してと 武富 葉月 です。ありがとうございました。

と思いました。 ずな清掃を頑張ってもらいたい したいし、生徒会の後輩にもき ランティア活動に積極的に参加 です。自分が大学に行ってもボ もらえたのがとても嬉しかった んから「ありがとう」と言って を掃いて通りがかったおばあさ

日大三島三年 佳史

れいにしたいと思います。 加して日本大学三島と三島をき つもりなので、きずな清掃に参 出来ました。次の生徒会もやる ミュニケーションを取ることが にしてくださっている方々とコ ら近所の方やきずな清掃を一緒 しかし、その二回を参加してか しか参加したことがありません 私は、きずな清掃はまだ二回

日大三島二年 西田

おうと思います。 でゴミを見つけたら積極的に拾 かったです。これからも、町中 ランティアの感覚を味わえてよ から経験のできないような、ボ また、日頃普通に暮らしていた 改めて知ることができました。 どれほどゴミが落ちているかを また自分たちが暮らす市や町が して、地域の方々と交流ができ 私は、「きずな清掃」に参加

日大三島二年 仁杉 華

って登下校する際に、いくつか 私は、このいちょう並木を使

> 立っている気がして、とても嬉 た人がやったことが大いに役に 下校に観察してみると、参加し しています。ただ、その後の登 は地味な部分をよく好んで掃除 ることは嬉しいです。また、私 ました。それを清掃・改善でき 気になるところがたくさんあり

> > 該当年度

令和十三年度

日大三島三年 米田 楓



参加行事 ◎第七十二回富桜祭への校友会

物産展 開催時間 校舎十五号館一階 スタディエリア 十月三十日 九時~十七時

開催時間 校舎十三号館二階 講師室 十月三十日 十時~十五時

ホームカミングデー

◎周年行事一覧

国際関係学部創立五十周年記念事 国際関係学部校友会創設三十 五周年記念事業 該当年度 令和十一年度

◎校友会報投稿者募集

会社の経営者地元で話題、ユニ 報」に掲載する卒業生でお店・ 自薦他薦は問いません。 ークな活動を行っている方など 国際関係学部校友会では「会

でご連絡ください。 四一一一八五五五 ご存じでしたら下記事務局ま

日本大学国際関係学部内 静岡県三島市文教町 二一三一一一四五

日本大学国際関係学部校友会

事務局

 ${\overset{T}{E}} {\overset{L}{L}} \cdot {\overset{F}{F}} {\overset{A}{X}}$

○五五一九八○一○八二○

同窓会だより

国際関係学部同窓会

防止を鑑み令和四年度も中止と 懇親会ですが令和二年度から続 国際関係学部同窓会総会並びに させていただきました。 く新型コロナウイルス感染拡大 例年十月上旬に開催されます

桜 栄 会

桜栄会会員の皆様へ」



桜栄会会長 平澤 佳代子

でしょうか。三つの「密」や消 員の皆様には、いかがお過ごし は形を変えた日常を取り戻しつ 毒を心がける生活の中で以前と 夫にして過ごせましたか。 つありますが、この一年、心丈 ウィズコロナの中、桜栄会会

され、身体的、精神的、 こなかったとお話ししました。 その「持続」つながりで、この られたそうです。厚生労働省は 際に考案された憲章に取り入れ 意味する概念で、この言葉は、 きました。「持続的な」幸せを う言葉を耳にするようになって 頃は『ウェルビーイング』とい せず、知ろう・分かろうとして を話題にし、私自身は自分事に よりよい世界を目指す国際目標 ス・ディ・ジーズ)持続可能で 「個人の権利や自己実現が保障 九四六年世界保健機関設立の さて、昨年はSDGs(エ 社会的

> られたらきっと幸せが舞い降り この人のここが素敵」をみつけ 苦手な人にも使えますよ、「あぁ 日の出来事を振り返り、「よかっ が、笑顔を絶やさず過ごす。今 気を寄せ付けないともいいます りましょう。例えば、笑いは病 ウイルス達に負けない自分を作 身体を作る上で、自分に必要な イルスは変異を繰り返していま 湧いてきません。新型コロナウ 康な状態でないと頑張る意欲が みようとする時には、身体が健 体的、精神的、社会的に満たさ 実させる「ワークライフバラン どがガラッと変わりましたが、 ロナ禍では、働き方や学び方な する概念」だとしています。 たさがし」を心がける。これは、 か、自分改善に努め、変異する ものは何か、足りないことは何 れた状態ですか。何事もやって 目されています。皆さんは、身 様化をすすめる考え方として注 ス」を実現したりと働き方の多 たり、仕事だけでなく余暇も充 に良好な状態にあることを意味 「自分らしい働き方」を実現し 他の病気も同様です。強い

ティブな人間関係を築くのも る時代になっています。ポジ 『ウェルビーイング』を構成す 柔軟な考えや対応が求められ られるかもしれません。

て免疫力が上がり強い自分が作

欲しいです。 欲しいです。 な要せを日々の中で見つけて 生きがい、働きがいなど持続可 生きがい、働きがいなど持続可 生きがい、働きがいなど持続可 なっなどのポジティブな感情も含 のです。やってみよ

最後になりましたが、人生一○○年時代、自分はどう生きるか、健康を軸に見つめ直すのもがでしょうか?

挨拶と致します。
報交換ができる日を願って、ご堂に会し、互いに、有意義な情

「カリキュラム導入にむけて」

たす学生も多くみられ、在校生

中に栄養士以外の資格取得を果

のニーズは多様化しております



髙 橋 敦 彦 食物栄養学科教授 学科長 日本大学短期大学部

校友会、桜栄会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。新こととお慶び申し上げます。新なっとしています。大学では学ようとしています。大学では学なうとしていますが、大学

む進学(日本大学の他学部や他 ②本学専攻科食物栄養専攻を含 近年、本学食物栄養学科卒業生 の場を借りて御礼申し上げます。 をいただけておりますことをこ れを許され、貴重な実習の機会 校外実習では、昨年に引き続き 限り対面授業を行っています。 と、実験実習をはじめ、可能な の関係各位の多大なご協力のも 執行部の先生方、そして全部署 養士以外の職種への就職が約1 大学への編入学を含む)、③栄 の進路は①栄養士利用の就職、 数多くの施設から学生の受け入 / 3ずつとなっています。在学

二〇一六(平成二十八)年十二〇一六(平成二十八)年十二月、本学は「自主創造」の理念の下、育成していくべき人間念の下、育成していくべき人間常としましたが、この憲章では学生が身に付けるべき「日本大学マインド」とともに、「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら考さが身にする八つの能力のにわらく」の三つの構成要素とをひらく」の三つの構成要素とからく」の三つの構成要素とからく」の三つの構成要素とかしながら、全学共通教育科目が配されています。しかしながら、全学共通教育科目の食物栄養学科での導入は遅れておりました。

学部食物栄養学科のカリキュラ がることが期待されます。 考えますが、学生の満足度が上 これにより、進路指導を担う教 成の責務を果たしながらも、学 栄養士養成施設として栄養士養 の基礎」、「日本を考える」の導入、 共通教育科目である「自主創造 だけるよう準備を進めておりま 新カリキュラムで学修していた 員の負担は増えることになると 生が目指す学び、進路のための す。新カリキュラムでは、全学 科目選択の自由度を高めました。 ム、学則変更を行い、二〇二三 (令和五) 年度の新入生から、

②フードアナリスト、③NR・ ご紹介申し上げたいと思います。 をいただきましたので、ここで 格取得サポートについてご質問 OGの方から食物栄養学科の資 生の方であれば、受験料の割引 研修の資格取得をサポートして 製菓衛生師、⑤介護職員初任者 サプリメントアドバイザー、④ に、①フードスペシャリスト、 食物栄養学科では、栄養士以外 の会報をお読みいただいたいて していただくことで、①~⑤の などは受けられないものの、所 おります。食物栄養学科の卒業 いる家政科(生活文化学科)の さて、話は変わりますが、こ 通信教育講座を受講

ことができます。とが可能です。食物栄養学科以とが可能です。食物栄養学科以とが可能でするにより取得するに合格することにより取得するに合格することにより取得するとが可能です。食物栄養学科以とが可能です。食物栄養学科以

科、髙橋敦彦までご一報くださ科、髙橋敦彦までご一報くださいますようお願い申し上げます。学内で学科運営にあたってまいります。どうかOGOBの皆様ります。どうかOGOBの皆様ります。どうかOGOBの皆はないただきますようお願いいたします。

上げます。

「何かと制約の多い今日この頃
をすが、この状況が一日も早く
をすが、この状況が一日も早く

「ご挨拶」



食物栄養学科助教日本大学短期大学部

教に着任しました難波亜紀と申このたび、食物栄養学科の助

こうした背景を鑑み、

短期大

資格取得を目指していただくこ

試験 源保護協会、中央水産研究でのカ で博士号を取得し、日本水産を貝初 私は日本大学生物資源科学型の、 自己紹介させて頂きます。

とは、昼夜関係なく年齢を問わ という色をがむしゃらに付けて 卒業研究を開始した初日は珍し と思い、研究室の先生に相談し とができる制度があり、他大学 そのスタートは、大学三年生の が、今思えば、それがよかった ず、辛く感じる日もありました 果を捉えることがなかなかでき ことを教わりました。方法や結 ンを繰り返しながら進めていく ず分野を超えてディスカッショ いくイメージでしょうか。研究 白なキャンバスに実験(研究) ら夜まで、夏休み、冬休み関係 ただ、それからは、実験を朝か さと研究室メンバーの優しさに は日大とどれほど違うのだろう 所や他大学で卒業研究をするこ 時に行われた研究室選びでした。 究活動に取り組んできました。 源保護協会、中央水産研究所 で博士号を取得し、日本水産資 のかもしれません。 なく取り組む毎日でした。真っ 心が躍ったのを覚えています。 て都内の国立大学に決めました。 そして再び生物資源科学部で研 私は日本大学生物資源科学部 希望研究室に外部の研究 水産研究・教育機構)、

した。研究課題を決める際、指修士課程は日大で取り組みま

時お世話になった先輩が、受験 りました。学部四年生の時に当 のように感じてしまっていたか ので)。上記だけみると、勉強 結果が出るかどうか分からない まっている研究、もう一つは何 表を作成できたとき、論文の中 をまとめて自分オリジナルの図 いた意味を実感しました。結果 勉強は無駄ではないよと言って 生物と化学を総復習した形にな ら修士一年生にかけて、 しになります。結局、 て、また調べます。その繰り返 とまた分からないことが出てき あったら、調べます。そうする を読んでいて分からないことが した。実験結果が出たり、論文 らです。しかし、研究は違いま に追われ、インプットするだけ した。高校まではひたすら授業 まいますが、勉強嫌いな人間で 好きな真面目な学生にみえてし 究を立ち上げるということは、 方は勧められません(一から研 積んだ今、必ずしも私が選んだ びました。なお、色々と経験を そう」、ということで後者を選 ていないことをやった方が面白 聞き、好奇心から「何も決まっ げる研究でした。先生の説明を も分かっていない一から立ち上 は研究の筋道や実験方法が決 テーマを提案されました。一つ 四年生か 高校の

せん。 きの感動は、今でも忘れられま にあった一つのグラフの意味が 一日かけてようやく分かったと

導教員の先生からは二つの研究

えています なるよう尽力していきたいと考 を持ってもらえるような講義に だけではなく、最新の知見を紹 そのためには、教科書を教える えていきたいと思っています。 学生の皆さんにはそのことを伝 学びました。教員となった今、 もって学習することの大切さを 介しながら、何か一つでも興味 コロナ渦にあってもさまざま 研究では、何事も主体性を

心からお願い申し上げます。 業生の皆様のご支援とご協力を その働きを支えられるよう、卒 おります。そしてこの校友会が では豊かな教育の場を展開して な工夫をしながら食物栄養学科

新任のご挨拶



食物栄養学科助教日本大学短期大学部 Щ ゅ う

桜栄会会員の皆様におかれま

とお慶び申し上げます。 しては、ますます御健勝のこと

思っております。 ました。皆様のお仲間に入れて いただけることを大変嬉しく 養学科の助教として着任いたし 今年度より短期大学部食物栄

学には十二年半勤務し、 設された管理栄養士養成校(現 栄養士を持っているということ 究を頑張っているうちに、管理 究を続けていました。そこで研 することができなかったところ 栄養士の仕事の魅力に取りつか ンターの臨時栄養士を経験し、 院を卒業してから、学校給食や 道が拓けて参りました。常葉大 の中でも特に応用栄養学と給食 栄養士の専門分野に、また、そ 学が位置する基礎分野ではなく に良かったと思った出来事でし 在の常葉大学)の助手として着 で、平成十七年度から新規に開 恩師に拾われ、主に植物由来の を、母校の細胞生化学研究室の れながらも、公務員試験に合格 経営管理論の道に進もうという 性を模索していたところ、生化 ていただき、自分が目指す方向 先生方の授業や研究に携わらせ た。助手・助教の間に、様々な 栄養士の資格を持っていて本当 任することができました。管理 レクチンの生理活性に関する研 私は、静岡県立大学と同大学 助手、

> 生と一緒に様々なイベントに携 助教、講師と昇格しながら、公 ております。 わりながら、学生とともに成長 トするサークルを立ち上げ、学 認スポーツ栄養士の資格にチャ していくことができたと自負し レンジ・合格し、食事をサポー

はり実家との遠さがネックとな 切に二年間勤務しましたが、や 要なことであり、このご縁を大 学科に准教授として着任し、調 りと、二児の子を持つシングル 再度学校給食の臨時栄養士を経 たという次第です。 らの学科に着任することが叶っ り、ついに最も望んでいたこち 理学を基礎にすることは大変重 給食経営管理を教える上で、調 理学を教えることになりました 学院大学短期大学部の食物栄養 あって令和二年度より静岡英和 ができました。また、ご縁が マザーとしては経済的に不安定 健康・栄養調査の調査員をした 勤講師、保健所が管轄する国民 験したり、大学・短大での非常 ました。フリーランスとなり、 東部に戻ることを決め、退職し 庭の事情で、実家のある静岡県 ながらも貴重な経験をすること 日々を送っておりましたが、家 常葉大学では大変充実した

験は浅いですが、静岡県内の栄 栄養士として現場で働いた経

> と思っております。 少しでも「食」の大切さを感じ 全く「食」に興味のない人に、 ある学生を「栄養士」に育て、 ます。少しでも「食」に興味の 役に立てればと強く思っており たことが、こちらでの仕事にお 養士養成校を一通りまわってき てもらうことを広げていければ

どうぞ、今後ともよろしくお い申し上げます。

栄養士として働く皆様へ」



専攻科・十八期

長谷川

和

を進むことになりました。栄養 ことがあると知り、栄養士の道 中、調理師免許の方は実務経験 で決めかねていました。そんな に興味があり、 業して四年が経ち、栄養士とし により受験資格を得ること、栄 高校生の時点で食に携わる職種 て務めるのは五年目となります。 養士免許は学校でしか学べない 「栄養士」どちらの道を選ぶか 早いもので、本校専攻科を卒 「調理師」と

学科のある学校の中で日本大学 へ進学した理由としては、何よ り自宅から近いということで、 大学へ登校する機会を増やすこ とができるという点が挙げられ とができるという点が挙げられ とができるという点が挙げられ ます。他に、図書館の書籍が充 実していること、栄養士の資格 以外にも取得できる資格がある 点が決め手となりました。図書 館にはよく行く機会があり、個 室のような静かな空間で課題の 作成や論文の参考文献として利 作成や論文の参考文献として利

を頂きました。 ドワーク等の工程を覚える機会 活動を事前に知るきっかけとな からゼミに加わっていたため、 実のところ、短大一年生の時期 ミ活動に力を入れていました。 きました。専攻科では、よりゼ を取る機会を多く作ることがで 結果としてコミュニケーション 図書館の利用を同級生にも勧め、 行っていました。そんな中で、 うまとめるか勉強会を頻繁に ています。同級生と共有してど 題が忙しかったことをよく覚え 短期大学部時代は、実習と課 実験補助を兼ねてフィール

内での動きを知ることができる、年生から栄養士委託会社へアルバイトとして就きました。自身が調理補助をしながら、栄養士の現場を見ることができ、施設の現場を見ることができ、施設のでの動きを知ることができる、

理、

現場でも多くの栄養士が支

いました。 望・クレーム等数多く対応して いる前提で、質問や提案・要 難を極めました。他の部署から 向管理栄養士として勤めていま その後老人福祉施設に異動、 得。手堅く資格を抑え、確実な 理栄誉士免許と調理師免許を取 間と有休を活用して勉強し、 として配属された際も即戦力と 面を見せることができ、正社員 じところへの就職を希望。実際 イトとして勤めていた箇所と同 なりました。就職先は、アルバ 校外実習と同等に貴重な経験と した。初の管理栄養士業務は困 キャリアアップを図りました。 た。そうして二年の厨房業務期 して厨房業務に貢献していまし に現場で働いていた点で有利な 食物に関しては全て把握して

業務の中でも初歩になる大量調業務の中でも初歩になる大量調のだと気付きました。栄養士ののだと気付きました。栄養士ののだと気付きました。栄養士ののだと気付きました。栄養士ののだと気付きました。栄養士ののだと気付きました。栄養士ののだと気付きました。栄養士ののだと気付きました。栄養士ののだと気付きました。栄養士ののだと気付きました。栄養士ののだと気付きました。栄養士ののだと気付きました。栄養士ののだと気付きました。栄養士ののだと気付きました。栄養士ののだと気付きました。栄養士ののだと気付きました。栄養士ののだと気付きました。

導いていけたらと思います。多くあります。実際の経験を踏多くあります。実際の経験を踏えており、学生でも学ぶ機会が

色々な選択肢



食物栄養学科・六十期

的に学べた栄養についての知識 象深い良い思い出です。レポー 得のため日々栄養について勉強 学科に入学し、栄養士の資格取 が出来たことは私にとって一番 の他に、大切な仲間を作ること を報告する仲であるため、実践 も定期的に会い、お互いの近況 は食物栄養学科を卒業した今で 変で投げ出しそうな時もありま るしい生活をしていた渦中は大 すことができるため、とても印 教育などの実践的な学びに生か したが、その際の実習班の仲間 トや課題に追われながら目まぐ た知識を献立作成や調理、栄養 では実験実習が多く、座学で得 しておりました。食物栄養学科 私は平成三十年度に食物栄養

なっています。なっています。友人たちも様々な進路、ります。友人たちも様々な進路、の大きな財産で活躍している話を聞く

を懐かしく思います。

「、栄養価計算をしていた日々が、新幹線の中で課題やレポーした。驚かれることも多いでする際は新幹線で通学しておりまる際は新幹線で通学しておりまる際は新幹線で通学しておりま

ことが出来たことで非常に理解 学をしたことで全く違うジャン がしやすく、学びが役に立って 間で食の基礎知識を身に付ける ります。そういった際は、二年 ついてなど食に関わる科目があ 産食品についてや、その加工に た。海洋生物資源科学科では水 楽しく、学びの幅が広がりまし ルの勉強ができたことがすごく ただきました。私の中でも編入 生方には沢山ご相談にのってい がいらっしゃったことです。先 海洋生物資源科学科出身の先生 を知ったこと、先生方に私が現 えていたのですが、進学を決心 洋分野に興味があり編入学を考 在在籍している生物資源科学部 に編入学をしました。元々、海 したのは諸先輩方の幅広い進路 私は、食物栄養学科を卒業後

私の所属研究室ではサンプリン現在は研究室に所属しており、

いることを実感できました。

究していく所存です。 学し、現在の研究をより深く研 ます。来年度からは大学院に進 味の部分が大きいと考えており 栄養学科での学びにより得た興 わる研究を行っているのは食物 究をしています。現在、食に関 される可能性があるため、食品 海産物を多く喫食するわが国で とが明らかとなってきました。 貝類がフグ毒を保有しているこ 研究によりこれまでTTXを保 各地で問題視されており、 がフグ毒(テトロドトキシン、 私は、二枚貝類におけるフグ毒 をしたりなどアクティブに非常 グが多く、釣りをしたり磯採取 の安全性の確保を目的として研 は、予期せぬ食中毒が引き起こ 有していないとされてきた二枚 TTX)を保有することが世界 おります。近年、海産二枚貝類 保有状況について研究を進めて に充実した生活しております。 先行

ら思います。

ス学を決意して良かったと心かの要因であるため、二年次に編への選択肢があったことが一番への選択肢があったことが一番



桜栄会の皆様へ

ご理解とご協力を賜わり、 学科・専攻科食物栄養専攻の教育活動に し上げます。 桜栄会の皆様には、日頃から食物栄養 心から感謝申

生の方もチャレンジしてみてはいかがで 回のスクーリングのみの参加です。卒業 これは通信制ですので、大学へは、年二 万円、二年間で国家試験受験資格取得) 師コースは他校に比べ安価(一年間十五 を増やしています。なお、下記製菓衛生 ち上げ、サポート体制を整備し、合格者 度より、 めておりますが、近年では社会人になら 栄養士を目指す在学生の専攻科進学を勧 学をご案内いただければ幸いです。管理 のほどよろしくお願い申し上げます。な 導に一層努めてまいりますので、ご支援 開設し、四年制大学と同等の教育や学士 くの学生が国家試験に合格しています。 ですが、しっかりした指導体制で毎年多 入学されています。また、平成二十三年 し、管理栄養士を目指して本学専攻科に れた卒業生も、専門的知識や技術を習得 生や社会人の受験生がおられましたら本 お、栄養士資格の取得を希望される受験 の維持・発展を期して、日々の教育・指 しています。歴史と伝統を有する本学科 学も可能であり、 おります。幸いにも本学科は、専攻科を り、本学科も、大変厳しい状況が続いて 進学希望者は年々減少し、特に短期大学 への進学者数は目に見えて減ってきてお (栄養学)の取得、さらに大学院への進 さて、今日少子化が進む中、大学への 管理栄養士国家試験対策室を立 一定の教育水準を維持

からのお知らせ 管理栄養士国家試験対策講座

りが制限されているのでZoomを使っ 単位で申し込みをします。 さい。なお、講座にあわせて模試も大学 食物栄養学科研究室へお問い合わせくだ ご用意ください。受講を希望される方は 程度で週一回くらいを目安に開講を検討 題集一冊を少なくとも三回は解くことが 要だと考えます。合格のためには過去問 がら勉強するには継続した学習習慣が必 っていましたが、卒業後仕事と並行しな は月一回午前十時半から十五時頃まで行 しています。問題集は女子栄養大学の 大切です。そのため、六十分から九十分 た対策講座を十月から開催します。従来 ます。今年はコロナ禍で校内への立ち入 月二十六日と例年より一週間早く行われ 「受験必修過去問集」を使用しますので 第三十七回の管理栄養士国家試験は二

方はぜひご参加ください。 での追い込みをがんばろうと思っている 随時、講座には参加できます。試験ま



学科で卒業生も取得できる資格

《製菓衛生師(国家試験受験資格)》

す。毎年四月から開講します のスクーリング(各五日)および指導校 学習(月一回の課題提出)、夏季と春季 す。本学では、二年間の在学中に、通信 ていることが望ましい唯一の資格で、食 製菓専門学校」との連携で、製菓衛生師 研修(一日)により効率的に修得できま に関する資格の中でも人気の高いもので 課程を開設しております。製菓衛生師と 国家試験受験資格を取得できる通信教育 は、製菓・製パン業務に就く際に取得し は、茨城県にある「つくば栄養医療調理 食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻で

《介護職員初任者研修》

准教授

石川 上田

元康

教授

龍太郎(食品衛生学)

(食品学)

教授

学科長

髙橋

(病理学・疾病学)

呼ばれ、高齢者や心身障害者などの身体 パー二級に該当します。訪問介護員とも 成し、開講します。 食物栄養専攻を対象にカリキュラムを編 独の通信講座で、食物栄養学科・専攻科 齢化社会を迎えニーズの高い資格です。 する講座を修了することで修得でき、高 の自立を支援します。厚生労働者が指定 の介護や家事サービスを提供し、自宅で 本講座はニチイ学館と連携した本学科単 介護職員初任者研修は、旧ホームヘル

「フードアナリスト」四級・三級

鈴木 麻友 (専攻科・

十七期)

識・教養を幅広く学び、食の事ならば何 食育など、「食」に関するあらゆる知 化や食空間の演出法、テーブルマナーや フードアナリストは、世界各国の食文

> まれば本学にて二日間の受講で取得可能 予定です。また、四級の資格を取得した 格が取得可能です。今年度は二月に開講 様々な分野で活動し、その活躍が多くの 識を身に付けたフードアナリストは、 ト」を育成する為の資格です。幅広い知 ても執筆できる「食情報のスペシャリス を聞かれても解説できる、何を依頼され 者は、三級受験資格があり、希望者が集 一日の受講(含む認定試験)で四級の資 メディアで注目されています。本学にて

専任教員&助手紹介 食物栄養学科·専攻科食物栄養専攻

〈専任教員〉

助教 助手 助手 助教 准教授 准教授 〈助手〉 葛城 難波 篠原 青野 天海 (専攻科·二十二期) 佐々木里緒 長谷川和輝 (情報処理演習·公衆衛生学) 礼子 啓子 亜紀 裕美 (専攻科・十八期) (専攻科・十八期) (専攻科・十七期) (給食経営管理論 (栄養学) (調理学) (栄養教育論)

FAX:○五五-九八○-○八四六 TEL:○五五-九八○-○八四○ お問い合わせは、 E-mail:takahashi.atsuhiko@nihon-u.ac.jp 食物栄養学科研究室

日本大学国際関係学部校友会会則

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は日本大学国際関係学部校友会と称する。

(事務局)

第2条 本会は事務局を静岡県三島市文教町2丁目31番145号に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 本会は会員相互の親睦と融和をはかり母校の発展に寄与すると共に母校建学の理念を社会に拡充することを 目的とする。

(事業)

- 第4条 本会は前条目的達成のために次の事業を行う。
 - 1 会報発行・会員名簿の作成
 - 2 会員相互の親睦と融和をはかるための諸事業
 - 3 母校の発展興隆に関する諸事業への協力参加
 - 4 その他目的達成のために必要な諸事業

第3章 会員

(会員構成)

- 第5条 本会は日本大学三島予科・三島教養部・文理学部三島・短期大学部(三島校舎)・専攻科食物栄養専攻・国際 関係学部・大学院国際関係研究科の出身者および在籍した者による正会員と幹事会において本会に関係が深く 功労があると認められた特別会員・名誉会員並びに準会員である国際関係学部・大学院国際関係研究科・短期 大学部(三島校舎)の在学生をもって構成する。
 - 2 特別会員・名誉会員並びに準会員は議決権は有しないものとする。

(会 費)

- 第6条 会員は規程の定めるところにより、会費を納入しなければならない。
 - 2 会費及び徴収方法は別に定める。
 - 3 特別会員・名誉会員は会費を徴収しないものとする。

第4章 役 員

(役員構成)

第7条 本会に次の役員を置く。

会 長 1名

副 会 長 若干名

幹事長 1名

常任幹事 若干名

幹 事 若干名

会計監査 2名

(顧問・参与)

- 第8条 本会は顧問・参与を置くことができる。
 - 2 顧問・参与は幹事会の議を経て会長が委嘱する。

(役員の選出)

- 第9条 会長は会長・副会長会議で推薦され、総会にて承認を得るものとする。
 - 2 副会長は国際関係学部校友会を構成する各同窓会会長或は在学した者の代表者とし会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
 - 3 幹事長は常任幹事から会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
 - 4 常任幹事は各科同窓会代表幹事とし、常任幹事から庶務担当・会計担当を幹事長が指名し、会長・副会長会 議に報告するものとする。
 - 5 幹事は国際関係学部校友会表彰者或は各科同窓会会長から推薦し、幹事会に報告するものとする。

(任期)

- 第10条 各役員の任期は3年とし、再任は妨げない。ただし満80歳をもって定年とする。なお、期間は当該年度内とする。
 - 2 欠員が生じたときは、必要に応じて補選し、その任期は前任者の残存期間とする。
 - 3 任期満了した場合においても、後任者が就任するまでの間その職務を行う。

(役員の職務)

- 第11条 会長は本会を代表し会務を総括する。
 - 2 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
 - 3 幹事長は事務を統括し、本会運営に必要な一切の事務事項を遂行する。
 - 4 常任幹事は幹事の互選により選出し、常任幹事会を構成、本会業務の遂行にあたる。
 - 5 幹事は幹事会を構成し、本会運営の諸事項の議決にあたる。
 - 6 顧問・参与は本会の重要事項につき、会長の諮問に応ずるものとする。 なお、顧問・参与には役員に関する規定を準用する。

第5章 会 議

(会議及び議決方法)

- 第12条 本会の会議は、総会・会長、副会長会議・常任幹事会・幹事会の4種とする。
 - 2 会議は会長が招集し、議長団はその都度選出する。
 - 3 やむを得ない場合は、常任幹事会及び幹事会をもって総会に代ることができる。

(会議の構成及び開催)

- 第13条 本会は目的達成のため下記の機関を置く。
 - 2 総会は本会運営上の諸事項についての報告を受けこれを承認する。 総会は年1回開催するものとし会長がこれを招集する。
 - 3 常任幹事会は常任幹事以上の役員を以て構成し本会の執行機関として本会の実質的運営にあたる。常任幹事会は必要に応じて随時会長がこれを招集する。常任幹事3分の1以上の要求があった場合はこれを招集しなければならない。
 - 4 幹事会は総会の代行機関として第14条の事項を付議し、これを議決する。 幹事会は年1回以上開催するものとし会長がこれを招集する。幹事3分の1以上の要求があった場合は臨時に招 集しなければならない。
- 5 事務局は幹事長指示のもと会員相互の連絡及び各会議の議事の収録並びに運営に必要な一切の事務を行う。 (総会の審議)
- 第14条 総会は次の事項を審議し議決する。
 - 2 会則及び重要規定の制定、改廃に関する事項。
 - 3 事業計画に関する事項。
 - 4 予算・決算に関する事項。
 - 5 会長の選任に関する事項。
 - 6 その他第4条に基づいて必要と認められた事項。

第6章 支部

(支部の設置)

- 第15条 本会は円滑な発展と交流の促進のために支部を設けることができる。
 - 2 支部の設置条件及び方法は別に定める。

第7章 会計

(会計年度)

第16条 本会の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(経費)

第17条 本会の経費は、会費並びに寄付金その他の収入を以てこれを充てる。

(会計監査)

第18条 会計監査は本会会計及び財務について監査し、その結果を総会にて報告する。

第8章 会則

(会則変更)

第19条 本会の会則の変更は総会の議を経てこれを決する。

(会則の遵守)

第20条 国際関係学部校友会は日本大学校友会会則及び支部規程を遵守しなければならない。

(施行細則)

第21条 この会則に必要な細則は会長・副会長会議及び常任幹事会の議決を経て会長がこれを施行する。

第9条表彰

(表彰)

- 第22条 本会の目的及び事業に貢献した者は幹事会の議を経て、これを賞することができる。
 - 2 卒業予定者及び在学生に対する会長賞等の表彰規定は別に定める。

第10章 除 名

(会員除名)

- 第23条 会員が次の事項に該当した行為があったときは幹事会の議を経て除名することができる。
 - 2 国際関係学部の名誉を傷つけ、また校友としての品位を害する言動があったとき。
 - 3 校友会の秩序を乱したとき。
 - 4 故意または重大な過失により校友会に損害を与えたとき。
- 付 則 本会則は平成23年8月1日より施行する。

日本大学校友会組織図

日本大学校友会(校友会本部事務局)

都道府県支部(65 支部)

北海道ブロック(札幌・旭川・稚内・小樽・帯広・留萌・苫小牧・網走・釧路)

東北ブロック(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)

関東ブロック(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・川崎・山梨)

東京ブロック(東京都第一・東京都第二・東京都第三・東京都第四・東京都第五・

東京都第六・東京都第七)

東海ブロック(岐阜・静岡・愛知・三重)

北信越ブロック(新潟・富山・石川・福井・長野・長野北信)

近畿ブロック(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)

中国ブロック(鳥取・島根・岡山・広島・山口)

四国ブロック(徳島・香川・愛媛・高知)

九州ブロック(福岡・北九州・佐賀・長崎・佐世保・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

学部別部会(18部会)

本部大学院・法・文理・経済・商・芸術・国際関係・危機管理・スポーツ科・理工・生産工・工・医・歯・松戸歯・生物資源科・薬・通信

職域別部会(5部会)

全国桜師会・桜門会計人会・日本大学法曹会・全国桜門スポーツ部会・桜門社長会

門 会 (74団体) 桜

海外特別支部(9支部)

韓国・ブラジル・ロサンゼルス・台湾・サンフランシスコ・スペイン・ニューヨーク・インドネシア・ミャンマー

日本大学国際関係学部校友会組織図 三島豫科 三島教養部 文理学部(三島) 短期大学部 桜文会(国文·英文) 国際関係学部校友会 商経科同窓会(1・2部・ビジネス教養) (旧三島同窓会) 桜栄会(栄養·家政·食栄·生活·専攻科) 工科同窓会(建築·機械) 国際関係学部同窓会